
令和3年度
阪神北☆夢づくり応援事業事例集



阪神北県民局県民交流室県民課

令和3年度 阪神北☆夢づくり応援事業事例集 目次

No	市町	団体名	事業名称	ページ
1	伊丹市	特定非営利活動法人アイリス	STOP! THE 介護離職	1
2	三田市	ミラクルウィッシュ	さんだ女子防災部	3
3	猪名川町	いながわベース	いながわ博覧会	7
4	宝塚市	花屋敷つつじが丘自治会	みんなで作る寄り道スポット	9
5	川西市	ママのねフェスタ実行委員会	妊娠期の夫婦のための「共同育児」啓発事業	11
6	三田市	特定非営利活動法人里野山家	三田高平、みんなで楽しく耕作放棄地活用農業	14
7	宝塚市	にしたによいしょ	宝塚北部西谷地域とアート交流と関係人口と	19
8	宝塚市	しぜんクラブ	宝塚 子供と自然のふれあいプロジェクト	21
9	猪名川町	いながわりンク	あわてんぼうのクリスマス★ナイト2021	23
10	伊丹市	特定営利活動法人A&C.P芸術・文化振興会	ピアノを弾こうよ!「ピアノひいてみ亭な〜♪」vol.4	25
11	宝塚市	女性起業研究会ESPACE宝塚	和の文化を体験し、伝統文化の継承に貢献する事業	27
12	三田市	ふれあい活動推進協議会 武庫小校区	子育て&多世代交流支援事業「はたけであそぼう!」	36
13	川西市	エジソンクラブ	幼児からはじめるプログラミングの考え方入門	38
14	川西市	東久代むつみ自治会	東久代むつみ産直市場	40
15	猪名川町	NPO法人猪名川つながり創造研究所	安心できる場所と反差別の価値観を共有できる仲間づくり事業	42
16	伊丹市	こうの池のつどい場 なないろカフェ	集まれ!地域の高齢者 ~こうの池のつどい場~	48
17	伊丹市	伊丹水とみどりのネットワークの会	伊丹水とみどりのネットワーク 推進プロジェクト	50
18	川西市	市民活動団体まちおもい	地域の魅力発信地域情報「tocotoco」発行&まちなかマルシェの開催	52
19	川西市	Apple kids	わくわく!どきどき!はじめての英語!小学生、Come on!	55
20	伊丹市	地域で育てる仲間づくりの会	みんなでやってみよう「小さな里山づくり」	57
21	川西市	川西女性起業家ネットワークWoman Create	かわにしWoman Create クリエイトフェスタ	59
22	三田市	波豆川区	都市と農村の交流	61
23	三田市	平和を考える市民の会	中村哲医師写真パネル展と、次代を担う若者との平和討論会	63
24	伊丹市	男性の地域社会デビューを応援する会	男性の地域社会活動への参画を促す「パンじいプロジェクト」	65
25	宝塚市	特定非営利活動法人ほっと宝塚子育てネットワーク	子育て不安のないまち、みんな一緒にスマイルプロジェクト	71
26	川西市	はなまるクラブ	読書・地域交流活動応援、地域担い手土壌づくり	73
27	川西市	トランジションタウン川西	大災害にも生き残れる持続可能なまちづくり	77
28	川西市	日本ボーイスカウト川西第4団育成会	キャンピング&ハイキング	79
29	宝塚市	特定非営利活動法人宝塚メディアネットワーク	巡礼街道活性化プロジェクト	81
30	宝塚市	NPO法人親子会エルフ	親子テニス	83

事業名	(STOP! THE 介護離職)
------------	--------------------

団体名	特定非営利活動法人アイリス	代表	合田 真弓
協働団体			
活動地域	伊丹市		
事業の目的・趣旨	<p>私たちは「<u>介護離職をなくす</u>」という理念のもと日々活動を行っています。介護者が社会から孤立し、一人で抱え込むことのないよう、仕事と介護の両立をできる社会・地域で支え合える社会を実現することを目的としています。</p> <p>今後は、一層の増加が予想される介護離職者に対して、伊丹市内から、地域社会と連携し、介護や認知症への理解を深める機会を設けるとともに、介護離職を防止するためのコミュニティづくりや、介護者一人ひとりに寄り添った相談業務を展開していきます。</p>		
事業内容	<p>令和3年度は、<u>介護や認知症に対する理解を深める機会を提供するため、プロの落語家である笑福亭智丸氏をお呼びして、介護にまつわる創作落語を披露いただきました。</u></p> <p>当日は、伊丹市内の医療従事者や地域住民を中心に、44名の方にご参加いただき、日本の伝統芸能である落語を通じて、介護や認知症について考える契機にさせていただいたのではないかと思います。</p> <p>【落語でかいご】</p> <p>開催日時 令和3年7月23日 14:30~16:30 開催場所 伊丹スワンホール（伊丹市昆陽池2丁目1番地） 内 容 笑福亭智丸氏による介護ネタの創作落語・介護福祉士でアマチュア落語をされている虎乃家光甲氏のトーク等の落語会 参加者 44名（医療関係者や地域住民の方等）</p>		
事業スケジュール	実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）
			スタッフ 来場者等参加者
	2021 4 20	笑福亭智丸氏のスケジュール確認・会場電話予約	1
	2021 5 11	スタッフミーティング（オンライン）	8
	2021 6 20	虎乃家光甲（島崎）氏へ舞台設営及び進行係を依頼	2
	2021 6 29	チラシ作成・注文	1
	2021 7 1	チラシ配布開始・SNS・ホームページで広報予約開始	5
	2021 7 8	会場下見	3
	2021 7 12	スタッフミーティング 担当係・タイムスケジュール決定（オンライン）	6
	2021 7 21	会場設営機材の準備	3
	2021 7 23	落語でかいご 開催	8
		反省会	5
	2021 8 3	開催結果・決算報告（オンライン）	8
	2021 8 31	実績報告書作成	8
			36

<p>事業効果</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、参加定員を当初予定の 50 名から 30 名に変更して実施しました。当日は小学生からご年配の方まで、40 名以上の方にご参加いただき、近隣住民の方々に、介護問題に関心を持っていただくことができました。</p> <p>実際の参加者からは「介護に関心を持つきっかけになった」「落語と介護がどう結びつくのか、不思議だったが参加して納得した」「とても良かった、定期的に開催してほしい」等のお声をいただき、介護や認知症に対する理解を深めてもらうという当初の目的は達成できたのではないかと思います。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>単発の事業では、一時的に関心を持っていただいたとしてもなかなか定着は難しいと考えられるため、今後も継続して開催し、更に介護への関心を持っていただく方を増やしていきたいと思えます。新型コロナウイルス感染症対策が徹底されており、安心して参加できたという感想もいただきましたので、引き続き感染症対策を徹底のうえ実施していきます。</p>

(活動状況写真)



団体名 特定非営利活動法人アイリス

団体設立 西暦 2019 年 8 月 21 日

活動分野 保健・医療・福祉 まちづくり

設立目的 介護離職をなくすという趣旨で設立した NPO 法人です。介護者の社会からの孤立を防ぎ、仕事と介護の両立ができる風土づくり、介護離職することなく仕事を続けていける社会づくりのために活動をしています。

事業名	(さんだ女子防災部)
------------	--------------

団体名	ミラクルウィッシュ	代表	益田 紗希子										
協働団体	三田市危機管理課、みんなで減災し隊、(株) サンコー、ほくせつ親子防災部												
活動地域	三田市												
事業の目的・趣旨	<p>小中学校での防災訓練や勉強会への参加機会の少ない、乳幼児を持つ母親に特化した防災コミュニティの構築と持続を目指します。</p> <p>知識の習得等単なる学びにとどまらず、地域社会で母親同士のつながりを創り、孤立することなく、安心して子育てができ、いざという時に子どもの命を守る地域コミュニティづくりに取り組みます。</p>												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三田市に特化した冊子「親子防災ノート」を製作する ・「防災パーティー」の開催 <p>開催日時：2021年10月17日 開催場所：三田市総合福祉保健センター 多目的ホール</p> <p>内容：親子防災ノートの完成披露を行うとともに、ほくせつ親子防災部代表の辻由起子さんに登壇いただき基調講演 三田市危機管理課による出前講座、 防災グッズの展示・簡易トイレのデモンストレーションなど 1日で防災について学び、体験してもらう。</p> <p>参加者：子育て中の親子や関心のある方ならどなたでも参加可能、30世帯が参加</p>												
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)	事業概要	参加人数 (人)										
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">スタッフ</th> <th style="width: 50%;">来場者等参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> </tbody> </table>	スタッフ	来場者等参加者	2		10		8		10	90
スタッフ	来場者等参加者												
2													
10													
8													
10	90												
3	6	10	オンライン ZOOM にてデザイナーと防災ノート製作について打ち合わせ										
3	9	18	オンライン ZOOM にて、スタッフと防災パーティについて打ち合わせ										
3	9	28	小学校・幼稚園へのチラシ配布のための仕分け作業会場と打ち合わせ										
3	10	17	防災パーティ 講演会 (講師辻由起子様) 株式会社サンコー様によるトイレのレクチャー 三田市危機管理課による防災クロスロード 防災グッズの展示・ポスター展示 ダンボール椅子ワークショップ パラコードワークショップ 防災ポーチワークショップ										
3	10	29	オンライン ZOOM にて防災パーティ反省会										

事業効果	<p>さんだ親子防災ノートを制作することで、イベントに足を運べない方にも啓発できるツールとして活用できるようになった。当日だけでなく、三田市内の幼稚園・小学校への5歳児クラスに配布し(1000部)、三田市危機管理課の協力のもと講演会の中でも300部を配布することができ、自分の命・家族の命・わが子の命を守る啓発につながった。</p> <p>一度のイベント内でいろいろなワークショップを通して啓発を行うことができ、参加者から参加してよかったという声をたくさんいただいた。</p>
課題及び今後の展望	<p>コロナ禍で、人数を制限・事前申し込みを行い限定した人数での開催になってしまったので、参加しづらいという声をいただいた。一方、今後も毎年開催してほしい、防災ノートをたくさんの人に広めたいという声もいただいている。</p> <p>今後はこのノートを活用して防災についてたくさんの人に伝えていけるよう啓発活動を強化していきたい。</p>

(活動状況写真)



9月18日打ち合わせ (ZOOM)



9月28日 チラシ配布作業・会場打ち合わせ (三田市総合福祉保健センター)



講演会



防災グッズ・パネル展示



ダンボール椅子ワークショップ



防災ポーチワークショップ



パラコードワークショップ



簡易トイレ・凝固剤のレクチャー



受付にてさんだ親子防災ノートを配布(JCOMにてノートPR)



防災クロスロード



参加者さんと集合写真

10月17日 防災パーティ （三田市総合福祉保健センター）



10月29日 反省会（ZOOM）

団体名 ミラクルウィッシュ

団体設立 2014年1月1日

活動分野 男女共同参画、まちづくり、防災

設立目的 ママたちのこんなことをしてみたい、あったらいいなと思うことを仲間とともに考え具現化することで地域で支え会える人との出会いや支えあいの仕組み作りの場を作り、講座やイベント企画開催を行い、地域貢献に努めている。

事業名	(いながわ博覧会)
------------	-------------

団体名	いながわベース	代表	森田 憲	
協働団体				
活動地域	猪名川町			
事業の目的・趣旨	<p>猪名川町では、多くの団体や個人が地域活性化や地域住民の交流促進を目的として精力的な活動を展開しているものの、それらの多くが地域全体に十分な認知がされていないことが課題となっています。</p> <p>いながわベースは、猪名川町や近隣地域の活性化を目的に活動を行っていますが、今年度は地域で活躍する団体や個人を一体的に発信する「いながわ博覧会」を実施しました。</p> <p>なお、本事業はのせでんアートライン 2021 の地域プロジェクトに選定されています。</p>			
事業内容	<p>「のせでんアートライン 2021」の地域プロジェクトの1つとして、猪名川町で「いながわ博覧会」を開催しました。地域で活躍されている団体や個人が企画するイベントやワークショップ等を「いながわ博覧会」として一体的に情報発信する事で猪名川町内外の方々に地域の魅力を知っていただくきっかけにしました。</p> <p>具体的には、10/30、31 の2日間にわたり、日生中央駅前の商業施設「日生中央サピエ」において、各団体や個人の活動発表、住民との交流等を実施しました。また、11/6 にメープル猪名川においてメープル寄席を開催しました。</p> <p>広報面については、「猪名川博覧会」のホームページを開設し、Facebook ページでイベントの詳細を発信して、イベントの広報を行いました。</p> <p>10/30 (土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・念珠作りワークショップ (セレ・ナス様) ・アイシングクッキー展示 (こひつじアトリエ様) ・トイピアノ演奏会 (トリオッティ様) ・ハーバリウムペン作りワークショップ (いながわベース) <p>10/31 (日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンストパーク体験会 (ネッツトヨタ神戸様) ・アイシングクッキー展示 (こひつじアトリエ様) ・コーヒー試飲会 (ペーコーヒー様) ・世界のハリネズミ・化石展 (松本篤弘様) ・ハーバリウムペン作りワークショップ (いながわベース) <p>11/6 (土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メープル寄席 (メープル猪名川様) 			
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)	事業概要	参加人数 (人)	
			スタッフ	来場者等参加者
	3 8	参加団体・個人への説明を実施。募集開始。	1	
	3 9	参加団体・個人への説明を実施。	1	
	3 10	参加団体・個人との内容を協議	1	
	3 10 30	猪名川博覧会 1 日目を日生中央サピエで開催	5	100
	3 10 31	猪名川博覧会 2 日目を日生中央サピエで開催	5	200
	3 11 6	メープル寄席をメープル猪名川で開催。	1	20

<p>事業効果</p>	<p>全体で 300 名程度の来場者に参加いただきました。猪名川町の活動団体や個人を多くの方に知ってもらい、興味を持っていただくきっかけづくりを行うことができました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>計画段階では猪名川町全域でさまざまな団体がイベント等を開催し、まさに「博覧会」というスタイルを目指していましたが、コロナ禍の影響もあり、延べ 3 日間、2 箇所での開催に留まったことが課題です。 今後、本事業を継続的に開催することで、猪名川町における定番イベントとして認知度を高めるとともに、より多くの団体、個人が参加するイベントに育てていきたい。</p>

(活動状況写真)



団体名 いながわベース

団体設立 西暦 2017 年 11 月 1 日

活動分野 まちづくり

設立目的 猪名川町で活動する団体・個人を支援する。
猪名川町の魅力を町内外に発信する。

事業名 (みんなでつくる寄り道スポット)

団体名	花屋敷つつじが丘自治会	代表	長榮 浩一		
協働団体	宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会				
活動地域	宝塚市長尾台小学校区				
事業の目的・趣旨	<p>私たちの住むこのまちは阪神地区のベットタウンとして栄えましたが職住分離が進み職場と自宅の往復、ショッピングセンターや学校との往復が中心となり、地域内での交流が途絶えがちです。コロナ禍で地域のイベントも自粛しておりこのままでは地域の交流が途絶えてしまいます。</p> <p>当地域には宝塚市指定文化財のお地藏さまがありますが、世代交代でこの史跡を知らない住民も増えています。お地藏様をお守りしている有志も高齢化しており維持のための倉庫が老朽化し床が抜けています。急坂で広場のないこのまちですが今回お地藏様のある場所に設置されているこの倉庫を人が気軽に立ち寄れる小屋に改造して「寄り道スポット」に再生します。</p> <p>その再生は世代を超えて住民が自ら作業し作り上げることで一体感を醸成しきずなを深めることを目的とします。市内外へアピールすることで住民が足元にあるお宝を再認識しじぶんたちの住む地域への愛着を深めこれを契機にお地藏様の維持も若い世代に地域活動に興味をもち面白く楽しい活動として時代に合った自治会を目指していきます。</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小屋改修チームの結成と修復 自分たちで小屋を作るために地域で有志を募り小屋改修チームを結成します。設計から小屋づくりまで自分たちで行いました。 参加者：のべ 268 名 52 日 ・長尾台小学校区まちづくり協議会（コミュニティひばり）のイベントに参加 長尾台小学校区まちづくり協議会が開催するスタンプラリーに「寄り道スポット」として参加し地域の魅力を伝えました。 イベント期間中は地域の宝として市内外にお地藏様をPRするためスタンプポイントを目立つように工夫しました。今回の活動内容を説明したパネルを設置しPRを行いました。 スタンプラリー開催期間：令和3年10月10日～11月21日 参加者：350名（ビデオカメラにより人数カウントした推定値） ・小屋の完成式を執り行い地域の皆様に完成を報告しました。小屋の道路面には「万年坂地藏石仏」の看板を設置してPR強化をしました。 				
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）	
				スタッフ	来場者等参加者
	2021	4 23	プロジェクトの説明会（令和3年度事業計画）	7	
	2021	5 9～	小屋の解体	7	
	2021	6 6～	基礎の作成	48	
	2021	8 29～	床貼り作業	9	
	2021	9 5～	柱の取付	47	
	2021	10 10～	スタンプラリー参加 屋根取付	79	350
	2021	11 10～	壁取付し修復完成	66	
2022	1 8	完成式（YOUTUBEでもLIVE配信）	5	8	
2022	2 14	コミュニティ内へ活動報告とチラシ配布でPR			

<p>事業効果</p>	<p>今回の事業内容はネットを活用して動画配信や毎回電子掲示板で随時周知していきましました。スケジュールがタイトになりましたが口コミによりパワーのある若い世代の参加が増え何とか年内に小屋を完成することが出来ました。地域活動を日々伝えていくことで興味を持ってもらい参加者を増やす事が出来ました。また、スタンプラリーへの参加でこの活動を自治会外の多くの方に興味を持ってもらい他地区から本職の大工さんの支援や資材の提供もしていただきました。この活動の広がりを感じました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今回は 33 年目の改修で若手層の参加も増えましたが維持管理が必要です。継続して仲間づくりが必要でその組織作りが課題です。小屋はコミュニティの中心部に位置するために当自治会のみならずコミュニティ全体での活用と地域の魅力発信拠点として楽しく面白い活動として育てていきます。継続した活動で訪問者を増やし記念品販売やイベントを通じ助成に頼らず自立して運用が継続できるよう経済的な基盤づくりも目指します。</p>

(活動状況写真)



シニアの活躍



親子で協働作業



完成した小屋

道路面「万年坂地藏石仏」の看板を設置



地域の「寄り道スポット」として活用
子どもの宿題広場

団体名 花屋敷つつじガ丘自治会

団体設立 西暦 1993 年 6 月 1 日

活動分野 まちづくり

設立目的 地域的な共同活動を行うことにより、良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的とする。

事業名 (妊娠期の夫婦のための「共同育児」啓発事業)

団体名	ママのねフェスタ実行委員会		代表	古宇田 千恵		
協働団体	なし					
活動地域	川西市及び猪名川町					
事業の目的・趣旨	<p>少子化や核家族化、地域コミュニティの希薄化を背景に、出産を控えた夫婦の不安と孤立感が大きな課題となっている。さらに昨今では、新型コロナウイルスの感染拡大により、両親教室が中止になったほか、夫が妻の健診や出産時に付き添えない等の問題が生じている。</p> <p>本事業は、このような夫婦の抱える不安を緩和するため、夫婦がペアワークで共同育児に関する適切な知識を習得できる機会を提供することにより、地域で安心して子どもを産み育てられる環境づくりに資することを目的とする。</p>					
事業内容	<p><u>1 カードゲームの企画・開発</u> 地域内で育児中の夫婦（40名）に行ったアンケート結果を基に、共同育児を促すカードゲーム「マタ妻危機一髪」を制作し、100セット印刷した。</p> <p><u>2 ゲームカードとチラシの配布</u> 川西市内で妊婦健診を実施している市立川西病院など5施設と川西市および猪名川町の保健センター、川西市子ども・若者ステーションに依頼し、希望する妊婦にゲームカードを無償配布した。またイベントのチラシも作成し、上記施設などに配布し、イベント周知を行った。</p> <p><u>3 「オンライン・プレおやクラス」の開催</u> <開催日時> 令和3年12月12日（日）13:00～14:30 <開催場所> オンライン（オンライン会議ツール Zoom を使用） <内 容> カードゲーム「マタ妻危機一髪」を使用し、自分たちの「共同育児」についての役割意識や考え方を見直すきっかけづくりを行った。カードゲームを持っていなくてもゲームに参加できる形式とした。 <参加者> 妊娠期の夫婦3組 <参加費> 無料</p>					
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）		
				スタッフ	来場者等参加者	
	3	4	27	委員会オンライン会議：ゲームルールの検討	5	
		5	10	委員会オンライン会議：ゲームルールの検討 カードテキスト作成用アンケート質問項目検討	5	
		5	17	委員会オンライン会議：ゲームルールの決定 アンケート質問フォーム完成 友人知人にLINEで協力依頼	5	
		5	24	委員会オンライン会議：アンケート結果検討	3	

			カードのテキストの検討		
		6	28 委員会オンライン会議：印刷会社の選定	5	
			カードのテキストの検討		
		7	5 デザイナーとの打ち合わせ	5	
		7	12 委員会オンライン会議：カードのテキストの決定	5	
		7	12 テンプレートに文章入力（～8/31）	5	
		8	31 委員会オンライン会議：パイロット版完成	5	
		9	6 委員会オンライン会議：パイロット版印刷	3	
			イベントチラシの検討		
		9	15 カードデザインの受領	1	
		9	16 委員会オンライン会議：イベントチラシの検討	5	
		9	22 委員会オンライン会議：ゲームルールの再検討	5	
			ルール解説文検討		
		9	27 委員会オンライン会議：イベントチラシの決定	4	
		9	28 川西市教育委員会に後援名義使用許可申請	1	
		10	4 委員会オンライン会議：イベント内容の検討	5	
		10	12 委員会オンライン会議：イベントチラシの検討	5	
			ルール解説文の検討、カードのテキスト確認		
			ケースデザインの決定、テンプレート完成		
		10	15 カード・ケースの印刷発注	1	
		10	18 委員会@黒川公民館 県民局職員見学	4	
		10	22 イベントチラシの印刷発注	1	
		10	25 川西市教育委員会から後援名義使用許可	1	
		10	25 「1日がっこうと里山口ハス（主催：コクレオの森）」	4	約 20 組
			におけるカードゲームのモニタリング		
		10	26 カードとケースの受領	1	
		11	1 委員会@黒川公民館 カードケース挿入作業等	4	
			イベントチラシの受領	1	
		11	8 カードゲームとイベントチラシの配布（～11/19）	5	
		11	22 委員会オンライン会議：イベント内容の詳細検討	4	
		11	29 委員会オンライン会議：イベントリハーサル	7	
		12	6 委員会オンライン会議：イベントリハーサル	4	
		12	12 イベント「オンライン・プレおやクラス」開催	5	約 3 組
	4	12	20 委員会オンライン会議：開催結果報告、反省会	5	
		1	7 実績報告書作成（～1/15）	1	

<p>事業効果</p>	<p>地域内の夫婦の皆さんのご協力のもと、入念にモニタリングを実施したうえでカードゲームを作成することができた。</p> <p>12月の当該事業のクラスには妊娠中の夫婦3組が参加し、終了後のアンケートでは、参加者全員から「夫婦でゲームを楽しむことができた」、「夫婦で子育てについて話し合うきっかけになった」、「夫婦で共同して行う子育てのイメージを持つことができた」、「相手の子育てについての価値観や気持ちを知ることができた」、「相手への思いやりの気持ちが大切だと思うことができた」という回答をいただいた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>本事業で制作したカードゲームを活用し、より多くの方が体験できるイベントを開催することで、阪神間での妊娠・出産・子育てを支える輪をさらに広げたい。参加いただいた方のフィードバックを反映させていくことで、カードゲーム自体をより洗練された内容に仕上げていく予定である。</p> <p>今後は団体の自立的な運営に向けて、イベント参加費の徴収、資金面での支援拡充を図っていきたいと考えている。</p>

(活動状況写真)



カードゲームのモニタリングの様子①



カードゲームのモニタリングの様子②



「オンライン・プレおやクラス」のリハーサル



「オンライン・プレおやクラス」当日の様子

団体名 ママのねフェスタ実行委員会

団体設立 西暦 2019年 10月 18日

活動分野 子育て支援

設立目的 「ママのねフェスタ in 黒川」を開催することにより、委員会が活動する地域内の子育て中の親と子育て支援者の交流の輪を広げ、地域住民が互いに支えあう子育て環境の充実を図る。

事業名 (三田高平、みんなで楽しく耕作放棄地活用農業)

団体名	特定非営利活動法人 里野山家	代表	佐藤秀一
協働団体			
活動地域	三田市酒井地区		
事業の 目的・趣旨	<p>三田市高平地区はいずれの農山村地域の課題であります、高齢化、農業の担い手不足によりまして、昨今耕作放棄地が目立つようになりました。特に山際の畑や田んぼは獣害被害も多く放棄される傾向が目立ってきました。</p> <p>NPO 法人里野山家の主要メンバーは、以前よりこの耕作放棄地をなんとか活用して活かさないと、やがては高平の里地・里山の風景が壊れてしまう危機が来るのでは？と危惧し始めました。</p> <p>最初は主要メンバーで耕作放棄地の所有者から利用権設定をした畑に野菜などを植えて、夏の3、4回の畦の草刈りなどを引き受けておりましたが、口から口へと自分たちの食べるもので安全・安心な食べ物を耕作放棄地を活用して、その栽培技術を身に付けたという都市に住む方々が現れ始めました。</p> <p>そこで、昨年阪神北県民局の夢づくり応援事業の応援を受けまして、里野山家「ふるさと楽農部」なる「都会の住民と地元高平の住民で協力し合いながらみんなで安心・安全な米や野菜をつくる部会を発足しました。</p> <p>昨年は12家族がエントリーしまして、一年間米、麦、野菜、レンゲなどの蜂の蜜財源などを三田市内の農家さんに講師をしていただきながらみんなで楽しく作り、暑い夏の日も何回も畦や山際の草刈りなどを実行して、それが結果として美しい里山風景を維持していく活動に繋がることを実感しました。</p> <p>今年は去年のメンバーが声を掛けたり、新聞に取り上げられたりして、阪神間の住民や、三田市内のニュータウンの街の新たな子育て時代のメンバーを加えてより多くの人たちと共に耕作放棄地を活用した、人と人とを結びつける場づくりの「ふるさと楽農部」を進めて参りたいと考えています。</p>		
事業内容	<p>① 耕作放棄地田んぼ、畑を活用しての米作り、野菜作りを通して都会の人と地元の人とを繋げる場（里野山家ふるさと楽農部）を昨年に引き続き活動しました。</p> <p>② 参加する方に米作り、野菜作りの技術を習得する機会を用意しました。</p> <p>③ 安心・安全な米や野菜をつくりますので、農薬は一切使用せず、肥料もぼかしも手作業にて施肥してみんなで協力して作りました。</p> <p>④ 地域の一斉美化作業にはふるさと楽農部のメンバーが積極的に参加して、地元の農家さんたちと交流した結果、地域の人たち（三田酒井地区、下里地区）の皆さんにとっても喜んで頂きました。</p> <p>⑤ 手植え田植えや手刈り稲刈りなどを会員だけでは無く、イベント化して一般の方たちにも参加してもらえるように企画しました。</p> <p>⑥ 兵庫県ふるさとづくり青年隊の力を借りて、多くのイベントをチラシやパンフレッ</p>		

ト、SNS（フェイスブックやインスタグラム）を使って、広く一般の方たちに参加を呼び掛けていきました。その結果田植えイベントや稲刈りイベントは広報して、二、三日で定員数になり、当日は阪神間の街の子育て家族が多く参加して、特に子供たちが危機として田んぼに飛び込んだり、泥水で泥だらけになって非常に興奮していました。イベントの準備（苗代の代掻き、稲刈り後の稲架がけの稲木立てなど）は上記の兵庫県ふるさとづくり青年隊の若者が多く関わってやりました。

実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）	
		スタッフ	来場者等 参加者
2021	種樹下ろし	8	
	地区の池の沢の一斉掃除（大人7人、子ども2人）	7	
	養蜂部 蜂の引っ越し	1	
	下里地域の溝の一斉掃除	6	
	夏野菜定植	10	
	さつまいも苗定植	8	
	非常事態宣言で幼稚園児苗刈りできないために 幼稚園の先生の苗刈り	5	3
	糯米種蒔き	12	
	ミニトマトの苗定植	10	
	田んぼ畦塗り&代掻き	2	
	稲作田植えイベント（半分以上子ども）	4	48
	稲作田植え	14	22
	関西学院大学生対象有機農業研究会	6	8
	高平幼稚園児じゃがいも掘り	7	15
	もち米田植え	10	
	トマト防鳥網張り	4	
	ぼかしづくり	2	
	じゃがいも収穫	16	
	黒豆定植	7	
	畑と田んぼの畔の草刈り	2	
	夏野菜の管理	7	
	田せり機かけ、いんげん豆の種まき、草刈り	14	
	関西学院大学生対象有機農業研究会	11	5
	夏野菜管理と収穫	10	
	草抜き大作戦（大人14、大学生4、子ども1人）	11	
	夏野菜管理（大人11人、子ども1人）	10	
	田んぼの畦補修	5	
	刈り払い機取り扱い安全講習会	16	
	夏野菜管理と収穫	5	
	地這えきゅうり定植	10	
酒井地区一斉羽東川土手草刈り	7		
夏野菜管理と収穫	2		
畑畦刈り	4		
苺のランナー取り、人参、大根の種まき	11		

	9	7	JAの農業指導員の田んぼ視察	3	
	9	18	夏野菜管理、収穫、追肥	2	
	9	24	白菜定植	14	
	9	26	キャベツ、ぶろっこりー、サニーレタス定植	14	
	9	28	燻炭づくり	2	
	10	2	大根の害虫駆除、草刈り、ほうれん草の種まき	8	
	10	7	うるち米の稲刈り、稲架がけ(大人14人、子ども2人)	12	
	10	10	黒豆収穫、稲木準備(大人14人、子ども3人)	5	4
	10	12	稲刈りイベント準備(大人2人、大学生4人)	3	45
	10	17	稲刈りイベント(小学生以上45人)	8	
	10	24	米脱穀、蕎麦粉砕、春菊の種まき、さつまいも収穫	5	
	10	25	稲の梱摺り	5	
	11	4	糯米の梱摺り	4	
	11	6	玉ねぎ定植(大人8人、子ども3人)		
	11	14	残りの稲木の片付け、蕎麦干し、	5	
	11	23	苺苗の本定植	4	
	11	28	里芋の試し掘り、ももちゃん畑の整理、草抜き (大人4人、子ども4人)	3	
	12	5	里芋収穫、畑の整理	14	
	12	12	キャベツ、白菜、大根収穫	12	
	12	19	ももちゃん畑の竹整理	2	
	12	28	餅つき	1	
	1	12	関西学院大学生対象有機農業講	15	7
	1	15	2021年の振り返りと2022年の作付け計画相談会	2	
	2	12	畑に木培灰撒き	12	
	2	19	苺の枯れ葉切り	14	
	2	20	苺の追肥、じゃがいもの畝づくり、ぼかしづくり		
	2	27	じゃがいも畝の補修、ぼかしづくり、苺畑の鳥防除網 設置	10	
	3	6	じゃがいもの芽だし、ぼかしづくり(大人14人、子 ども1人)	10	
	3	13	育苗ハウスビニール張り、えんどうの支柱立て(大人 10人、こども1人)	10	
	3	20	急遽変更(排水難航のため)した新しいじゃがいも畑 の畝づくり (大人10人、子ども1人)	10	
	3	26	うるち米選別	8	
	3	27	かぶの直播、ぼかしづくり、にんにくの草抜き	6	

<p>事業効果</p>	<p>今年度までの数年間、耕作放棄地を活用して、米や野菜づくりを阪神間及び三田のニュータウンの人々と共にやってきました。地域を超えて多年齢の人々の交流を図る試みになってきています。農を一緒にすることで、人々の心が寄り合って仲良くなっていき、網の目のようにネットワークが広がってきました。地区の一斉作業である溝掃除や川岸の草刈り等にも積極的にメンバーが参加することで、地区の人々との交流も生まれて、高年齢化の地域社会を手助け出来るようになり、地区の人々にも大変喜ばれています。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>メンバーの要望で様々な部門（ふるさと楽農部――米作り&野菜づくり）（醤油づくり部）（味噌づくり部）（養蜂部）（藍育て&藍染部）等いろいろな部門をつくり、多彩なメンバーがより集まりやすく工夫はしています。これらの活動をより拡く阪神間の人々に SNS にて広報（Facebook→里野山家だより、インスタグラム→里山テーマパーク、ホームページ→里野山家）をしています。この試みを次年度のも引き続き活動参加者の増加を図る。</p>

(活動状況写真)



団体名 NPO 法人里野山家（さとのやまが）

団体設立 2016年1月15日

活動分野 環境、教育、地域づくり

設立目的 当 NPO は、三田市高平地域における「里地里山生活」を広く情報発信し、少子高齢化、里山荒廃、耕作放棄地増加など日本の農山村の共通課題を多少なりとも解消できればという目的で設立しました。

事業名 (宝塚北部西谷地域とアート交流と関係人口と)

団体名	にしたによいしょ		代表	林 治人	
協働団体	やまもり山里				
活動地域	宝塚市・三田市・猪名川町など兵庫県全域 (宝塚市西谷地域から拡げていく広域)				
事業の目的・趣旨	<p>都会のすぐ近隣にあり自然豊かで、のどかな里山や田園地帯(国の『重要里地里山500』に選定)である宝塚市北部西谷地域(市の2/3の面積、県有林も多い)の良さや魅力を市民や県民に知らせるとともに、それらを県下だけでなく全国や世界に発信する。同時に西谷の自然や農業、歴史文化、芸術やスポーツ、遊び文化、観光、おもてなしの伝統文化等を再発見して、地域づくりを支援したり、先導的に寄与したり(再創造、モデルづくり)しながら地域の活性化を図る。また楽しく幸せな地域での生活づくりや学びのモデル的なものを提案し、発信し、関係(信頼)人口を増やしていきたい。そして未来に向けて、若い人たちが「暮らしやすい魅力ある地域づくり」の一端を担えるように努める。</p>				
事業内容	<p>地域社会(宝塚市北部西谷)の様々なモノ、コト、ヒトの「発見・元気・発信・再創造」の拠点づくりをする。まず、第一モデルとして地域誌「にしたによいしょ」を通じて、文化・学び・発信の交流拠点づくりをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> アートを取り入れた交流とつながり <ul style="list-style-type: none"> 「西谷をアートの里」に (展覧会イベントやアートを通じて古民家や地域再生、体験型イベントなど) 西谷の魅力を展示できる場に出展 地域資源(古民家等)を活用して、人を呼び、交流し、つながりの場づくり <ul style="list-style-type: none"> 古民家シェアハウス化 (「えんがわ茶רון」縁側サロンの再生、交流読書会など) 宝塚市都市地域の交流グループとの協働 「にしたによいしょ」配架ラックの設置 畑や里山を活かした交流の促進とつながり、そして生物多様性の保全と再生 <ul style="list-style-type: none"> 畑のシェア化 (畑を通じて、都会の人とつながり交流する) 里山の活用 (他の里山づくり活動、保全再生グループとの協働) 地域誌「にしたによいしょ」の編集発行(地域特色の特集号) <ul style="list-style-type: none"> 地域取材 編集会議 折り作業交流会 配布協力者 西谷のモデル的な取り組みを紹介発信する(ブログ・写真) <ul style="list-style-type: none"> ホームページで「にしたによいしょ」の購読配信 Instagramなど 				
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要	参加人数(人)	
				スタッフ	来場者等 参加者
	2021	4 23~ 23	新型コロナのまん延防止等重点措置等期間中は活動中止等を行った アートオブジェづくり 自然食を食べる	2 3	0 4
		6 26~ 21~	アートオブジェづくり にしたによいしょ (No. 73) 発行	2 7	1 3000
		7 24 25~	交流会 にしたによいしょ (No. 74) 発行	2 8	11 3000
		9 25~	「にしたににフェア」展示(宝塚市立東公民館)	20	100
		1~ 10 7	にしたによいしょ (No. 75) 発行 親睦会	7 8	3000 0
		14~ 12 9~	ラフェンテ陶芸教室 アートオブジェづくり	3 2	12 0
		11~ 2022 1 13~14	にしたによいしょ (No. 76) 発行 「協働による政策づくり研修」(兵庫県自治研修所)	9 5	3000 38
		2 11~ 3 2	にしたによいしょ (No. 77) 発行 親睦会	7 8	3000 0
		21~	シェア畑マーガピースファーム交流会	3	23
延期	5	17~	「ハルさんの活動」展示		
延期	9	18~	「宝塚西谷里山芸術祭」開催協力・展示		

<p>事業効果</p>	<p>今年度は、コロナにもかかわらず参加人数も増えてきて、交流やつながりが以前にも増して出来てきたように思います。 また地域づくりにおいても、人づくりや場づくり、地域の魅力発信としての広報の役割を果たすことができるようになってきました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>より地域との連携や提言、地域の魅力発信を持続させていきたい。 若い方たちの、未来を創造していく地域づくりをもっと推し進めていきたい。 できるなら若い人たちが中心になって地域を動かせるようになってほしい。</p>

(活動状況写真)



「西谷をアートの里に」アートオブジェづくり



古民家シェアハウス化



畑のシェア化

にしたによいしょの発行

宝塚市立東公民館への展示

団体名 にしたによいしょ

団体設立 西暦2014年4月1日

活動分野 地域・生活・文化

設立目的 宝塚市北部地域（市の約60%の広さ）の良さや魅力を、市民や県民に知らせるとともに、それらを全国に発信すると同時に、地域の活性化を図る活動の一端を担う。

事業名 (宝塚 子供と自然のふれあいプロジェクト)

団体名	しぜんクラブ	代表	楠原信行			
協働団体	フレミラ宝塚・宝塚市立老人福祉センター					
活動地域	宝塚市					
事業の目的・趣旨	いきいき学会フレミラ環境・自然コースで宝塚市特有の動物、植物について学んだことを活かして、宝塚市在住の子供達に自然と触れ合うことの楽しさを教えたい。 会員は子供達と一緒に楽しみながら自然について更に勉強していく。 又、会員だけで観察会等に参加し、知識を深め、子供達に教えていく。					
事業内容	<p>「野外観察会」の実施 日時：2021年10月9日（土）9時半～15時 場所：芦屋市奥山地域 内容：兵庫県立人と自然の博物館・講師、小館先生による野外観察会</p> <p>「作ってみよう」 日時：2022年3月29日（火）9時～12時半 場所：フレミラ教室 内容：近隣の小学生を対象に、どんぐり、松ぼっくり、などで置物、写真立ての枠に自然のものを飾り付ける、竹でペン入れを作る。</p>					
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）		
				スタッフ	来場者等参加者	
	2021	5	19	年間計画の策定打合せ	8	10
		10	9	野外観察会	10	
		10	14	3月29日イベントの打合せ	11	
	2022	1	12	足立先生と新年会（昼食会）	10	
		3	16	材料確認	11	
		3	28	会場設営	8	
	3	29	「作ってみよう」開催	8		

事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・野外観察会は会員 10 名が参加、樹木の名、広葉樹・針葉樹・常緑樹、等種類、葉の形状、実、等、知識取得に大いに役立つ。 ・「作って見よう」に参加した 5 組 10 人の親子は、初めて触れる榎の実の殻や、初めて見る色々な植物の種に感激していた。一人 3, 4 個の作品を作り工作の楽しさを味わっていた。 ・終了時に各自の完成作品の紹介をしてもらったことは人前でのスピーチの勉強になったと思う。
課題及び今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の見本を置いたがそれが出来る全ての材料を確保しておくのがよい。 ・完成の作品はすべて写真に収めるのがよい。 ・アンケート記入の用意をすべきだった。 ・参加者は皆さん喜ばれ、来てよかったとのことであるので今後も続けたい。

(活動状況写真)



野外観察会 1



野外観察会 2



野外観察会 3



作ってみよう 1



作ってみよう 2



作ってみよう 3

団体名 しぜんクラブ

団体設立 西暦 2019 年 5 月 23 日

活動分野 子供の健全育成。

設立目的 いきいき学会で学んだ自然と、子供に親しみを持つシニアが、宝塚在住の子供達に自然と一緒に触れ合うことの楽しさを教え、共に自然について学んでいく。又その為に会員は自然の知識を更に増やしていく。

事業名	(いながわリンク)
------------	-------------

団体名	いながわリンク	代表	田尻 紗津
協働団体	猪名川町(後援)、猪名川町教育委員会(後援)		
活動地域	猪名川町		
事業の目的・趣旨	<p>猪名川町内では、4月にいながわ桜まつりライトアップ、6月に竹キャンドルナイト、8月にイルミネーション星まつり等があるが、冬場は寒さで人出が減り、住民同士の交流の機会が少ないことが課題となっている。</p> <p>そこで、猪名川町内にてクリスマスイベントを開催することにより、人と人が相互に交流する機会を提供するとともに、町の既存イベントなどとも結びつけることで、四季を通して「灯りでつなぐ猪名川町」をテーマに、猪名川町を活性化していくことを目的としている。</p>		
事業内容	<p>【開催】 ■日時：屋外 2021年12月3日(金)17:30~20:00 2021年12月4日(土)12:30~20:00 屋内 2021年12月4日(土)~12月25日(土)まで</p> <p>■会場：猪名川町 日生中央駅(能勢電鉄)前 人の広場/日生中央サピエ空き店舗内</p> <p>■来場者実績：12/3(金) 100人 / 12/4(土) 600人</p> <p>■イルミネーション：約 12,000 球 ペットボトル雪だるまん：約 100 体</p> <p>■出演(音楽・パフォーマンス等)：12/4(土) 8 団体</p> <p>■出展(ワークショップ等)：12/4(土) 10 店舗</p> <p>●出店者・出演者の有志の他、地域の方々が集まって設営・撤去を行った。</p> <p>●コロナ対策として追跡システムの掲示の他、時間ごとにスタッフによる会場消毒や見廻警備も実施。</p>		
事業スケジュール	実施日(年-月-日)	事業概要	参加人数(人)
			スタッフ 来場者等参加者
	21 6	1 ミーティング(イベント概要決定)	4
	21 7	9 ミーティング(スケジュール確認)	4
	21 8	6 ミーティング(担当割)	10
	21 9	10 協賛金・協力ボランティア等募集開始	4
	21 10	6 イベント告知情報調整	4 18
	21 10	28 イベント備品確認、補充、チラシ制作・告知開始	6
	21 11	12 昨年度報告会、ボランティア説明会	6 20
	21 11	13 事前ワークショップイベント1日目(雪だるまん)	5 60
	21 11	14 事前ワークショップイベント2日目(雪だるまん)	5 20
	21 11	22 屋外用装飾制作	4 10
	21 11	26 屋内用装飾制作	4 10
	21 11	30 コロナ、雨天対応、スタッフ最終確認	4 20
	21 12	3 イルミネーション設営・開催1日目	6 100
	21 12	4 開催2日目	6 600
	21 12	5 イルミネーション撤去	4 10
	21 12	12 挨拶回り	3
	21 12	15 屋内装飾の修繕	4 3
	21 12	26 屋内イルミネーション撤去	4 2
	22 1	15 振り返りミーティング・実績報告書作成等	4 3

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設営していると、「今年もできるんやね！楽しみにしてたんよ、ありがとう」と近くにお住まいの方から嬉しいお声がけを多くいただいた。 ・ 下校途中で通る子どもたちにも「お手紙(チラシ)もらってたよー！絶対いく！」と言葉をもらい、3 度目にして、SNS を通じてだけでなく地域の人にも根付いてイベントが認知されてきたことを実感している。 ・ 継続開催による認知度向上から事業に協力してくださる住民の方が増えた。
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出演ステージの観客がステージラインギリギリまで迫ってしまうので、余裕をみてステージからある程度の距離を確保してラインテープを引いた方が良かった。 ・ 追加のチラシを増刷することになったので事前の配布計画を綿密に立てていく。 ・ 規模も大きくなってきて関わる人が増えたものの、事業への参加が負担にならないようスタッフの人員配置を考えていきたい。

(活動状況写真)



事前ワークショップ



ワークショップで制作した雪だるまん



会場設営



当日の様子

団体名 いながわリンク

団体設立 西暦 2019 年 9 月 1 日

活動分野 まちづくり

設立目的 猪名川町内で「つくる・つなぐ・つどう」をテーマに活動。たくさんの人と一緒にこのまちを楽しみたいという有志で活動しています。地域の可能性を見出せるようなイベントを行いながら地域の活性化を図ります。

事業名 (ピアノを弾こうよ! 「ピアノひいてみ亭な〜♪ vol. 4)

団体名	特定非営利活動法人 A&C.P 芸術・文化振興会	代表	高橋 雅子				
協働団体	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市						
活動地域	伊丹市						
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段とは異なる空間にピアノを置くことで、音楽が好きな人、ピアノの愛好家やピアノに興味がある人が気軽に立ち寄り、触ったり、弾いたり、弾き語ったり、鑑賞し合ったりして、様々な楽しい一時を過ごせるような憩いの空間を創る。 ・ ミニコンサートの時間を設定して、集った人が音楽を通して楽しい時間を共有する。 ・ 新型コロナウイルスの影響が長引き、イベント開催が難しい状況でも、来場者にひととき楽しい時間を提供できるよう、スタッフ丸となって運営に取り組む。 						
事業内容	<p>◎ 「ピアノひいてみ亭な〜♪ vol. 4」 実施内容 開催日時 令和4年2月6日(日) 10:00~18:00 開催場所 いたみホール(伊丹市立文化会館) エントランスホール 内容・いたみホールのエントランスホール(ロビー)に一日ピアノ(アップライトピアノ)を置いて、一般に開放した。会場を、ピアノの演奏、弾き語り、アンサンブルなどが自由にできる音楽広場にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノの他、打楽器・ギターの体験コーナーも併設した。 (感染防止対策としてヴァイオリンコーナー中止、ギターコーナー規模縮小で行う) ・ 来場者から持ち込まれたピアノの演奏や伴奏の希望に応じる企画も実施した。 ・ ミニコンサート(約30分を3回)を開催し、来場者が様々な音楽(クラシック・ジャズ・ポップス・ラテン)を聴いて楽しめる時間を設定した。 <p>参加者 来場者のべ約180人(ピアノを弾いた人はのべ約80人)</p>						
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)			
				スタッフ	来場者等参加者		
	2021	11	7	理事会	・実施内容の検討協議	5	
	2021	12	12	理事会	・フライヤー制作、広報に関する検討 ・ミニコンサート出演依頼 途中経過報告 ・実施要項、開催内容、コロナ対策検討 ・ピアノ使用等について検討	5	
	2022	1	23	理事会	・開催内容詳細検討 (会場内配置、進行など) ・ミニコンサートⅢ部リハーサル	8	
	2022	1	30	リハーサル	・ミニコンサートⅢ部リハーサル打合せ	9	
	2022	2	5		最終打合せ・会場準備・リハーサル(前日)	9	
	2022	2	6		「ピアノひいてみ亭な〜♪ vol. 4」開催当日	13	180
	2022	3	6	理事会	・開催結果について振り返り(反省会)	6	
2022	3	21	理事会	・事業報告書作成	6		

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置発令の中、感染拡大状況を注視しながらの準備が続いたが、一昨年・昨年に引き続き感染防止対策を徹底しながら無事に実施することができた。このような社会状況ではあったが、多くの音楽(ピアノ)に興味のある来場者が訪れた。(来場者は昨年の約半数で約 180 人。子どもの来場が少なかった。) ・会場では老若男女、様々な人が、色々な楽しみ方で音楽と触れ合い、交流し、終日和やかな雰囲気の間となった。 ・ピアノの他、打楽器・ギターの体験コーナーにも人が立ち寄り、興味深く楽器を触るなど、目標とした「楽しい音楽広場」を実現することができた。 ・3回実施したミニコンサートは、様々なジャンルの美しい音色や楽しい音楽を鑑賞できる時間として、多くの来場者に喜ばれた。 ・新型コロナの社会状況が厳しい中、準備や運営面で難しい点も多々あったが、市民から多くの参画を得て今年も実施できたことはたいへん意義深く、楽しい音楽イベントとして定着したことを実感した。
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の 10 月、「伊丹ストリートピアノ」として 5 か月間、いたみホールのエントランスにピアノが置かれた。今後、それを運営する伊丹市や伊丹市ストリートピアノ協議会とも協議して、ピアノに関わる連携した催しを模索する必要がある。 ・本イベントは、2019 年からの開催を経て継続を望む声が多く聞かれることから、今後、開催経費の課題を克服しながら、ぜひ継続開催の方向で検討していきたい。

(活動状況写真)



会場オープン時



来場者のピアノ連弾



ミニコンサートの様子

団体名 NPO 法人 A&C. P 芸術・文化振興会

団体設立 西暦 2018 年 12 月 12 日

活動分野 文化・芸術・まちづくり・福祉・子どもの健全育成

設立目的 芸術・文化の振興活動を通して、芸術・文化愛好者の輪を広げ、県民や阪神間を中心とした住民の生きる喜びと新しい生きがいをづくり、健全で楽しい社会、全ての人々が心豊かに暮らしていけるまちづくりに寄与することを目的とする。

事業名	(和の文化を体験し、伝統文化の継承に貢献する事業)
------------	-----------------------------

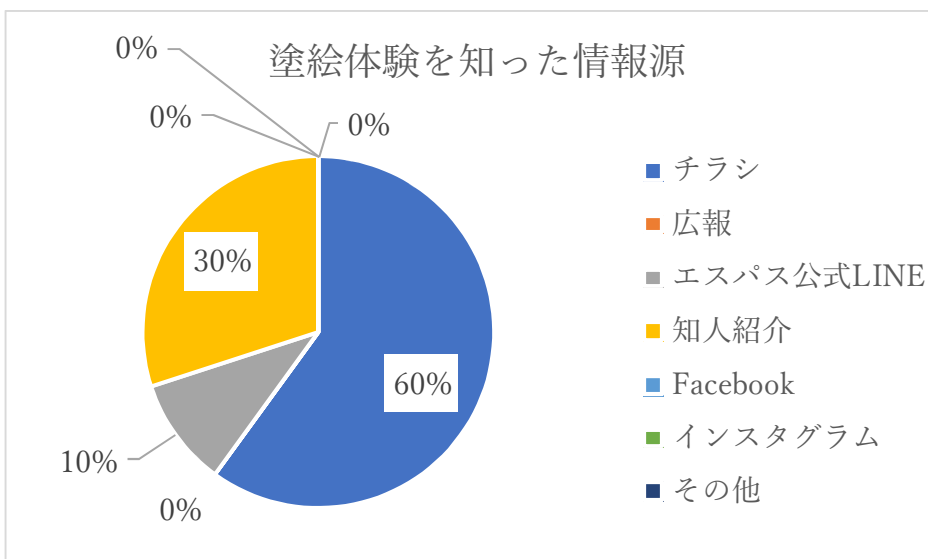
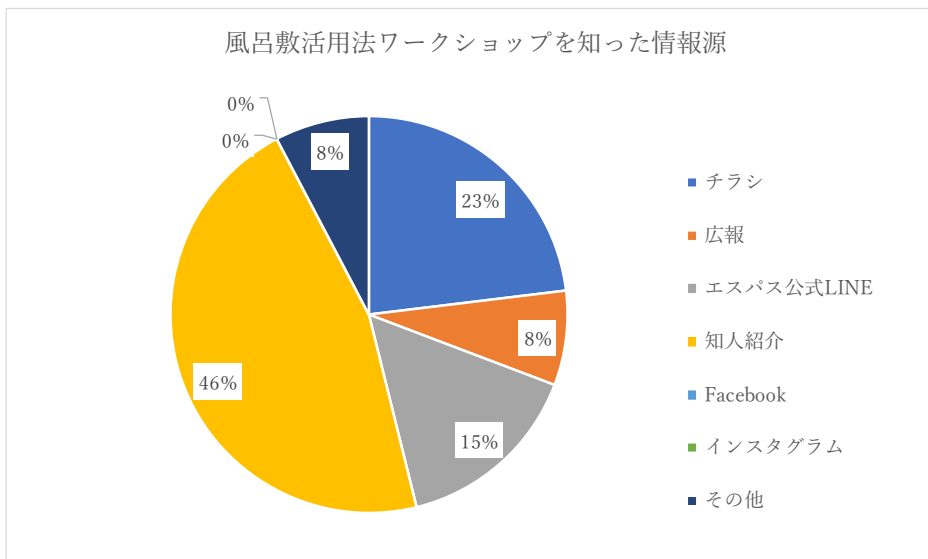
団体名	女性起業研究会 ESPACE 宝塚	代表	田中 京子
協働団体			
活動地域	宝塚市		
事業の目的・趣旨	<p>日本の伝統的なもの・ことを地域住民の方々に伝えるためのワークショップを実施し、日本の「文化」、「心」、「言葉」、「技術」を未来の世代につないでいくことを目的としている。</p> <p>また、その中でも近隣地域の伝統工芸を展示方式で紹介することで、伝統工芸そのものの存在や作品の価値を多くの方々に再認識してもらう。</p>		
事業内容	<p>「日本文化の良さに触れてもらうワークショップ」として下記のワークショップを開催するとともに、近隣地域の伝統技術のワザと良さを紹介する展示を新規事業「w a O和勉強会」という名称で開催した。</p> <p>「ふろしき活用法ワークショップ」 「色えんぴつで日本画体験ワークショップ」 開催日時：令和3年10月17日 11時～14時30分 開催場所：宝塚市文化芸術センター 内容： ①ふろしき活用法ワークショップ 防災も含めた日常生活に生かせる風呂敷の活用方法の講座 オリジナル風呂敷の紹介 <説明内容> ・ 普段の生活に役立つエコバック ・ 防災グッズとしての役割 ・ 抱っこ紐など子育てに役立つ使用方法 参加費 無料</p> <p>②色えんぴつで日本画体験ワークショップ プロの色彩絵師に学ぶ日本画のデモンストレーションと本格的なぬり絵のワークショップ <ぬり絵> ・ 塗り方の基本を説明 ・ サンプルを見ながら色鉛筆でA4の紙に印刷された花の絵に塗り絵をする。 ・ 講師が、板の上に日本画の技法を用いて描いた花に色付けする様子を解説しながら実演する。 参加費 1,000円</p> <p>③伝統技術のワザと良さを紹介するパネル展示 11時～15時 閲覧自由 閲覧者 約500人 <作品展示> ・ 川西・池田の菊炭（菊炭で作った作品、菊炭石鹸など） ・ 西宮の和ろうそく（蠟燭の原材料であるハゼの実、ロウ、芯など、装飾された蠟燭）</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波焼（皿や、器に苔玉を飾るかたちで展示） ・西陣織（額入りの生地、着物の帯） ・西宮名塩の和紙（名刺、土ごとに色の異なる和紙） ・播州織（生地、ふろしき） ・播州織の風呂敷での活用例（風呂敷をカバンにアレンジしたものを展示） <p><パネルでの作品説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川西、池田の菊炭 ・西宮の和ろうそく ・丹波焼 ・西宮名塩の和紙 ・播州織 					
事業 スケジュール	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
		スタ ッフ	来場者等 参加者			
	3	5	7	播州織工房館を訪問 見学、対談	3	
		5	13	執行部打合せ① イベント内容協議、チラシ原案	3	
		5	24	芸術文化センター会場確認	3	
		6	2	菊炭ショップを訪問 見学、対談	3	
		6	5	執行部打合せ② 質問シート作成、ポスター原案	3	
		6	10	執行部打合せ③ のぼり原案	3	
		6	23	講師と打合せ④ ふろしきWS内容詳細打合せ	3	
		6	28	丹波焼を訪問 見学、対談 展示品調達	3	
		6	30	播州織工房館を再訪問 展示品調達	4	
		7	12	執行部打合せ⑤ 展示について打合せ	3	
		7	30	執行部打合せ⑥ 日本画WS内容詳細打合せ	3	
		8	2	西陣織の卸問屋を訪問 対談 展示品調達	3	
		8	4	執行部打合せ⑦ 展示準備 展示品作成	2	
		8	23	執行部打合せ⑧ 展示準備 展示パネル作成	3	
		8	31	菊炭ショップ訪問 展示品打合せ	3	
		9	6	執行部打合せ⑨ 展示準備 展示物作成	3	
		9	12	執行部打合せ⑩ ワークショップ準備 展示レイアウト想定	3	
		9	14	執行部打合せ⑪ ワークショップ準備 WS アンケート作成	3	
	9	28	名塩和紙、和ろうそく訪問 展示品調達	2		
	10	5	芸術文化センター会場備品など最終確認	1		
	10	10	執行部打合せ⑫ 当日の手伝いの方と手順確認	5		
	10	11	執行部打合せ⑬ ワークショップリハーサル等	3		
	10	13	執行部打合せ⑭ 展示品レイアウト・WS 調整	3		
	10	14	執行部打合せ⑮ 展示品レイアウト・WS 調整	3		
	10	16	執行部打合せ⑯ 準備品搬入、最終確認	4		
	10	17	本番	5	500	
	10	30	執行部打合せ⑰ 反省会	3		
	11	11	執行部打合せ⑱ 反省会・報告書作成	3		

<p>事業効果</p>	<p>ワークショップや展示を通じて日本の伝統文化をお伝えすることができ、我々の活動にも興味を持ってもらうきっかけにもなった。</p> <p>参加者には今後のワークショップにも興味を持ってもらったため、次回の案内を送ることになった。</p> <p><「w a O和勉強会」 伝統技術のワザと良さを紹介する展示></p> <p>4時間の展示で約500人の来訪者があり、近隣地域の伝統工芸そのものの存在や作品の価値を多くの人に再認識していただけた。特に、西宮名塩の和紙や西宮の和ろうそくについては、知名度が低く、今回の展示で初めて知ったという参加者が少なからずおり、特にこの2種類の伝統工芸については、認知度向上に貢献できた。</p> <p>菊炭に関しては、本来の「燃やす」目的としてではなく、オブジェとしてのニーズが高いことが、今回の展示を通じて知ることができた。このことから、菊炭の認知度向上につながるポイントが発見でき、伝統工芸を広めていく活路の一助を見いだせた。</p> <p>「ふろしき活用法ワークショップ」を通じて、現代社会ではあまり使われなくなった風呂敷の活用法を紹介することで、日本の「文化」、「心」、「言葉」及び「技術」を伝えることができた。また、風呂敷の防災活用や鞆として活用する方法を紹介することで、日常生活の中に楽しく取り入れられる日本の伝統文化を理解してもらうことができた。</p> <p>「色えんぴつで日本画体験ワークショップ」では、塗り絵を通じて、日本画の良さを体験して頂き、日本画のデモンストレーションにより、貴重な作業の様子を間近に見てもらうことで日本画を身近に感じてもらうことができた。</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ワークショップを知った情報源についてアンケートを取ったところ、風呂敷活用では、知人の紹介に次いでチラシが多く、塗り絵体験では、チラシが6割を超えていた。自分たちでチラシを作成し、そのチラシを宝塚駅、宝塚市内の公民館や図書館などに置かせていただくことができ、より多くの方に来ていただく結果につながった。参加者の中には、用事で宝塚を訪れ、駅でチラシを見て申し込んだ参加者もいた。チラシのデザイン、設置個所などが功を奏したと思料する。エスパス公式LINEで情報を得て参加された方も一定割合でいる一方、FacebookやInstagramなどのSNSがきっかけとなった方がおらず、これは参加者の年齢層が比較的高かったことが根拠であると考えられ、今後はターゲットを絞った情報提供を行っていきたいと考えている。

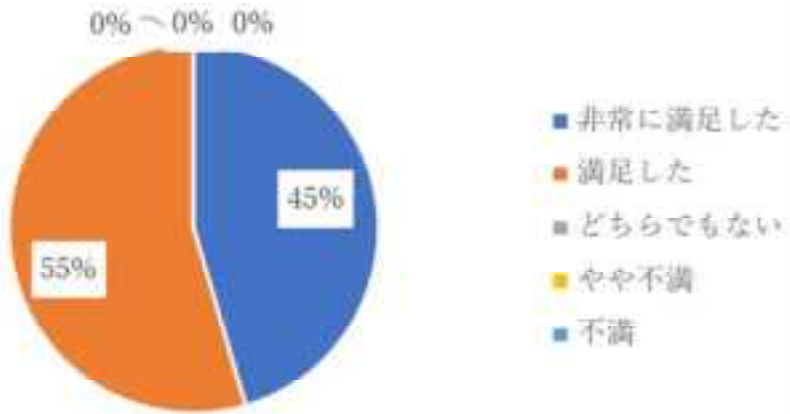
事業効果
(続き 1)



それぞれのワークショップについての満足度は、全員からポジティブな意見をいただき事業の目的を十分に達成できたと考えている。

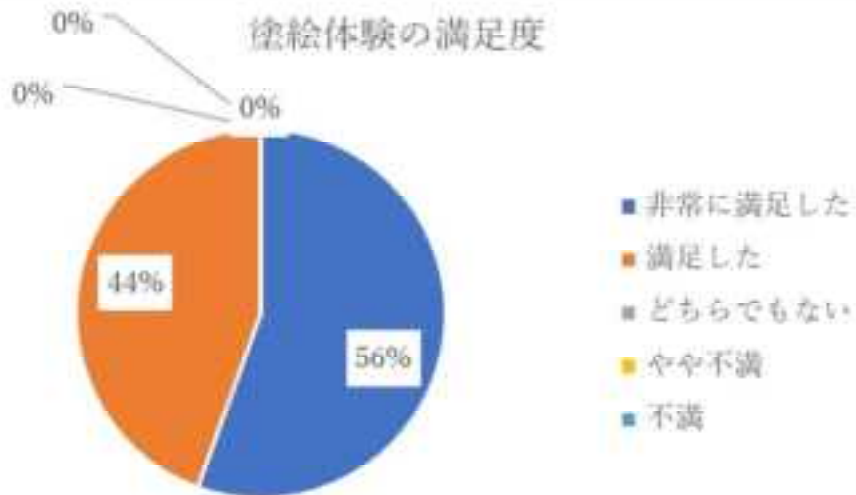
「また参加したい」という声も多く、今後も継続して伝統工芸の良さを広くアピールしていきたい。

風呂敷活用法ワークショップの満足度



事業効果
(続き 2)

塗絵体験の満足度



<p>課題及び 今後の展望</p>	<p><菊炭のアピール方法> 菊炭はオブジェとして人気があったが、会場の都合により実際に燃やすことができなかったが、実際に燃やすことができれば、菊炭の良さをアピールすることが可能と思われる。</p> <p><展示スペースと展示点数のバランス> 展示スペースに比して、展示数が多く、すべての展示品に対して説明資料を掲示できるだけのスペースが確保できなかった。 また、展示とワークショップを同時進行で実施したため、スタッフの負担が大きかった。</p> <p><若年層へのアピール> ワークショップの参加者の年齢層や、きっかけとなった情報源からも、若年層へのアピールとして、Facebook やInstagramなどへの投稿などで、若年層へのアピールが必要であると感じた。伝統工芸士は高齢化及び後継者不足が共通の課題となっており、これらの問題を解決できる方法を模索していきたい。</p> <p><応募者多数への柔軟な対応> 「色えんぴつで日本画体験ワークショップ」では、応募者が多数となり、会場や参加者との調整が難航した。次回以降は、備品や開催時間に余裕を持って計画する必要がある。</p> <p><費用面の課題①> 会場である「宝塚市文化芸術センター」の場所がわかりにくいという声（ワークショップ参加者のアンケートに記載）があった。会場の立地が駅や道路からアクセスしにくい、又は視認しにくい場所である場合、看板などの掲示が必要と感じたが、限られた費用なかで、これらの費用捻出が困難であった。</p> <p><費用面の課題②> 宝塚市文化芸術センターは、前日夕刻から展示するなどの準備をする場合、前日の終日分の費用が必要となるため、前日、会議室へ荷物を搬入し、当日1時間前に入館して準備することとなり、準備の負担が大きかった。</p> <p><費用面の課題③> 展示の打合せのため、関係機関との調整が多くなり、旅費が多くなってしまった。</p>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(活動状況写真) 1

松本ろうそく 訪問



名塩和紙製造場 訪問



スタッフ打合せ



当日準備



(活動状況写真) 2

伝統文化の展示パネル



ふろしき活用ワークショップ



(活動状況写真) 3

日本画体験ワークショップ



団体名 女性起業研究会 ESPACE 宝塚

団体設立 西暦 2019 年 11 月 1 日

活動分野 市民団体

設立目的 本会は宝塚及び周辺地域に学びの場と人と人とのつながりを創出し、情報の収集、提供、発信を通じて、会員間の相互啓発と新たな価値の創出を推進し、もって地域産業の振興や豊かなライフスタイルに寄与することを目的として設立された。

事業名 (子育て&多世代交流支援事業「はたけであそぼう！」)

団体名	ふれあい活動推進協議会武庫小校区			代表	弘田 恒子	
協働団体	武庫小校区まちづくり連絡協議会					
活動地域	三田市武庫小校区					
事業の目的・趣旨	<p>近隣農家から借用した休耕田を活用し、多世代を対象にした「はたけであそぼう！」の事業も3年目となりました。</p> <p>参加者の方には季節に応じた野菜を植え育てることで、成長の楽しみや収穫の喜びを味わっていただきました。また日頃畑での活動を体験することのないニュータウンの子どもたちに、自然の不思議や素晴らしさを体験する機会を作ることができたと思います。</p>					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の野菜（玉葱、じゃがいも、夏野菜、さつまいも、黒枝豆、大根、白菜等）を育て、成長過程を見たり自然とのふれあいを楽しんだりして収穫の喜びを体験してもらいました。 ・今年度は会員募集チラシを小学生対象だけではなく全戸配布にしたので、幼児から中学生までの子どもたちと20代～80代の幅広い年齢の大人が畑で交流することができました。 ・チラシを見た校区内の子育てサークル「ほっぺ」、デイサービス「山帽子」、宅老所「サロンゆう」からも参加希望があり、気候のよい季節に収穫に参加してもらえました。 ・関西学院大学都市研究会「三田を知ってもらい隊」の協力を引き続き得て、子どもたちと畑での作業を共にしてその後に畑でできるゲームを楽しみました。 ・収穫した野菜で親子クッキングを予定していましたが、コロナ禍の中反対意見もあり今年は見送りました。 					
事業スケジュール	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
					スタッフ	来場者等参加者
	2021	5	1	夏野菜植え付け	8	
		5	22	会員とさつまいも苗植え付け	8	15
		5	30	会員と玉葱収穫	8	23
		6	15	じゃがいも収穫、黒豆植え	14	
		6	23	子育てサークル「ほっぺ」とじゃがいも収穫	7	10
		7	3	会員とじゃがいも、夏野菜収穫	9	20
		8	1	夏野菜収穫	12	
		9	5	夏野菜収穫	11	
		9	25	会員と冬野菜植え付け	10	19
		10	13~15	「サロンゆう」とさつまいも、黒枝豆収穫	10	15
		10	16	会員とさつまいも、黒枝豆収穫	8	26
		10	18	子育てサークル「ほっぺ」とさつまいも、黒枝豆収穫	4	12
		10	18~23	「山帽子」とさつまいも、黒枝豆収穫	18	30
		11	20	会員と玉葱の苗植え	15	12
	12	18	会員と冬野菜収穫	6	16	
2022	3	3	冬野菜片付け、じゃがいも植え付け準備	10		
	3	20	会員とじゃがいも植え付け	8	9	

<p>事業効果</p>	<p>「はたけであそぼう！」会員募集に 10 家族 32 名、大人畑サポーター会員 10 名の希望がありました。月 1 回の行事以外にも、家族で収穫に来たり有志で草取り水やりを分担したりと昨年度に比べて活動に広がりがあったと思います。三世代で参加の家族もあり、畑でカエルや虫を追いかける幼児たちの姿をうれしそうに祖父母様が見守られていました。畑行事の手伝いで交流できた大学生にも、よい経験になったとの感想をもらいました。</p> <p>コロナ禍の中、自然と親しみながら密を回避した楽しい活動ができたと感じています。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>畑仕事の負担を軽減するために耕運機や草刈り機を借りていますが、夏場の水やりが特に大変なので来年度はポンプの購入を考えています。委員の高齢化が深刻なので若い世代の協力が必要なのですがなかなか難しい状況です。</p> <p>また、余剰野菜をどうしていくかも今後の課題です。</p>

(活動状況写真)



団体名 ふれあい活動推進協議会武庫小校区

団体設立 西暦 2007 年 4 月 1 日

活動分野 地域まちづくり・子育て支援

設立目的 「福祉でまちづくり・地域づくりを推進する」

- ・見守り つながり 支え合い を重点項目とする。
- ・地域の高齢化が進んでいく中で日々の生活の困りごとを解消するため、地域交流の場を提供するとともに支援活動に取り組む。

事業名 (幼児からはじめるプログラミングの考え方入門)

団体名	エジソンクラブ			代表	増岡 由紀子		
協働団体							
活動地域	川西市						
事業の目的・趣旨	<p>エジソンクラブでは、これまで放課後科学教室を中心に実施してきたが、令和3年度の事業内容を検討するに当たり、地域の保護者を対象にアンケートを行ったところ、プログラミング教育やレゴを通じた知育教育に高い関心が寄せられていることが分かった。</p> <p>このため、当補助金を活用し、地域子ども達が気軽にプログラミングに親しめる機会を提供することを目的に、プログラミング教室を年5回実施した。</p>						
事業内容	<p>○実行委員会を年6回開催した。</p> <p>○レゴを使ったプログラミングの活動を年5回実施した。</p> <p>①文科省の進めるプログラミング教育とはどういうものか、何のためにプログラミングを学ぶのかという趣旨を分かりやすく説明し、参加者に理解してもらった。</p> <p>②プログラミング的思考とは何かを理解したうえで、レゴブロックを使って、乗物や建物を親子で作成した。子ども達が試行錯誤して作業を行うことにより、思考力・想像力や物事に粘り強く取り組む姿勢を養ってもらった。</p>						
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)			事業概要		参加人数 (人)	
						スタッフ	来場者等参加者
	R3	4	30	実行委員会①		3	
		6	30	実行委員会②		3	
		7	30	実行委員会③		3	
		8	23	(1) レゴブロックで乗り物や建物を作ってみよう		3	8
		8	31	実行委員会④		3	
		9	6	(2) レゴブロックで動くおもちゃを作ろう①		3	12
		9	30	実行委員会⑤		3	
		10	9	(3) レゴブロックで動くおもちゃを作ろう②		3	14
		10	18	(4) レゴブロックで走る車、動くおもちゃ、光のつく家を作ろう		3	18
	11	13	(5) みんなで作った車、家、おもちゃを使って街を作ろう		3	10	
	11	15	実行委員会⑥		3		

<p>事業効果</p>	<p>○子ども達にプログラミングに親しむ機会を提供することにより、子ども達のプログラミングに対する知的好奇心を養うことができた。小学校においてもプログラミング教育が必修化される中、事前に土台となる知識を習得しておく意義は大きいと考えられる。</p> <p>○講師の方が新たに地域づくり活動を始めるきっかけとなった。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>○地域内にはプログラミングを教えられる講師がなかなか見つからないので、地域の大学生や元技術者の方を発掘するためのネットワークが必要になる。</p> <p>○幼児だけでなく小学生の参加希望も多かったので、小学生まで間口を広げて活動を実施していきたい。</p> <p>○より多くの方が参加できるように広報活動を行うとともに、川西市を始め兵庫県全体に活動を広めていきたい。</p>

(活動状況写真) ※プログラミング教室の様子



団体名 エジソンクラブ

団体設立 西暦 2008 年 7 月 16 日

活動分野 子どもの健全育成

設立目的 「なぜ、どうして？」という好奇心を大切に、子どものじぶんでやりたいという自発性を育てたい。子どもが主体で、科学工作や実験をすることで、身近に科学を感じ、科学に興味をもち、実験、体験を通じて健全な成長を目指す。

事業名	(東久代むつみ産直市場)
------------	----------------

団体名	東久代むつみ自治会	代表	安芸 宏美																																																			
協働団体	久代小学校区コミュニティ協議会																																																					
活動地域	川西市東久代むつみ自治会館および同敷地広場																																																					
事業の目的・趣旨	<p>当地区は伊丹空港の航空機騒音対策の移転補償事業により地区人口が約 3 分の 1 に減少し、生活利便施設が廃業・移転した経緯があり、住民の高齢化や単身世帯化が課題となっている。食材・食品を販売する利便施設誘致等を含む川西市の南部地域整備実施計画が進展しない中、東久代地域の活性化、高齢化による「買い物難民」対策、多世代の新旧住民のつながりを支える地域交流スペース創出を目的として、西宮卸売市場や地元生産農家からの仕入れに加え、近隣のパン・豆腐製造事業者の出店協力を得て、野菜・果実・生鮮食材等を取り扱う「産直市場」を 5 年前に開設し、地域住民による自主・持続的な運営を行っている。</p>																																																					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆毎土曜 8～10 時、自治会館隣接広場（市有地の無償貸与）で「東久代むつみ産直市場」を開催。買い物難民対策、地域の賑わい、住民交流の場づくりを図る。 ◆取扱品目は、久代地区の地場野菜、いちじく等の地場果物、タケノコ等の旬の農産物をはじめ、近隣製造事業者によるパン、豆腐類等の直販協力、西宮卸売市場から仕入れた日用食材や野菜、果物類を低価格で提供する。 ◆産直市場の開催中、隣接の自治会館、屋外テントにおいて、お茶、コーヒー、茶菓等のセルフサービスを実施し、地域・利用者交流の場を設け、住民の生活・福祉相談等を随時実施する。 ◆市場終了後は協力生産者や運営メンバーがミーティングを実施し、地域課題や産直運営についての意見交換等を行っている。 ◆参加・利用者数は、地域住民を中心に毎回約 70～100 人となっている。 ◆今年度は地元小学生の学校菜園即売コーナー（児童による販売体験学習）は感染症対策で中止。 																																																					
事業スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">実施日（年-月-日）</th> <th style="text-align: center;">事業概要</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">参加人数（人）</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 15%; text-align: center;">スタッフ</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">来場者等参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1・8・15・22・29</td> <td style="text-align: center;">各回 11～12</td> <td style="text-align: center;">各回 約 70～100 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5・12・19・26</td> <td style="text-align: center;">人が 参加</td> <td style="text-align: center;">来場</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">3・10・17・24・31</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7・21・28</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">4・11・18・25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">2・9・16・23・30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">6・13・20・27</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">4・11・18・25</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）					スタッフ	来場者等参加者	3	5	1・8・15・22・29	各回 11～12	各回 約 70～100 人		6	5・12・19・26	人が 参加	来場		7	3・10・17・24・31				8	7・21・28				9	4・11・18・25				10	2・9・16・23・30				11	6・13・20・27				12	4・11・18・25			<p>◆2021 年度は左記通り「産直市場」を計 34 回開催（新型コロナウイルス防疫を踏まえて屋外のみ実施）</p> <p>◆屋外テントにコーナーを設け、民生児童主任委員や福祉委員が参画する住民の生活・福祉相談の場や、障がい児者を含めた地域多世代交流を継続して行った（持寄りやお茶等のセルフサービス）</p> <p>本年度は感染拡大防止のため衛生面に十分配慮して実施</p> <p>◆産直運営や地域課題等の意見交換会議は適時実施</p>		
実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）																																																			
			スタッフ	来場者等参加者																																																		
3	5	1・8・15・22・29	各回 11～12	各回 約 70～100 人																																																		
	6	5・12・19・26	人が 参加	来場																																																		
	7	3・10・17・24・31																																																				
	8	7・21・28																																																				
	9	4・11・18・25																																																				
	10	2・9・16・23・30																																																				
	11	6・13・20・27																																																				
	12	4・11・18・25																																																				

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢化による「買い物難民」支援。歩いて行ける産直生鮮食料品・パン等の販売所づくり ◆新旧住民のつながりを支える地域交流拠点 ◆東久代地域の活性化。近隣地域住民や自治会交流の拠点 ◆地域の高齢者・高齢単身者・障がい児者を含めた生活・福祉相談の場 ◆自治会の持続的な運営基盤づくりや人材の確保・発掘・育成 ◆地域コミュニティ・生産農家・事業者等との協働の場、地域のにぎわいの創出
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域課題の解決をはかる多様な事業効果があり、地域まちづくりの活性化が促進されたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、地元の久代小児童による学校菜園即売コーナーや産直市場子ども納涼祭、市場の知名度向上を図る集客イベントが開催できなかった。感染症対策を前提とした事業運営のあり方を改めて検討する必要がある。 ◆集客イベントの中止や来場者の減少による大幅な売上減少に直面しており、財源及びスタッフの持続的な確保が課題となっている。 ◆今後は住民自ら主体的な取組を継続するとともに、今後、行政・民間事業者・専門有識者等の参画・協働も進めていく。

(活動状況写真)



自治会員スタッフによる販売



産直市場様子（東側テント）



地域課題・産直運営の意見交換会



本年度補助金を活用して制作した横断幕の2種（道路側と会館側壁）

団体名 東久代むつみ自治会

団体設立 西暦 1971年4月1日

活動分野 まちづくり・住民自治

設立目的 川西市東久代むつみ地区（東久代2丁目）の住民自治団体として設立し、自治会員相互の親睦を図り、防火、防災、防犯、その他不慮の災害を未然に防ぎ、住民福祉の向上により、明るく住みよいまちづくり、地域の住環境を作ることを目的とする。

事業名	(安心できる場所と反差別の価値観を共有できる仲間事業)
------------	-------------------------------

団体名	特定非営利活動法人 猪名川つながり創造研究所	代表	西田 啓治
協働団体			
活動地域	猪名川町		
事業の目的・趣旨	<p>猪名川町を中心に多様な人権諸課題の解決に向けて活動する人びとに、出会いと交流の場をつくり、豊かなつながりを創出することをめざす。そのため、身近な暮らしに関わる人権課題についての学習や啓発の機会を提供し、「ともに考え、ともに学ぶ」ことを通して、人権をキーワードにしたネットワークの深まりや広がりを生み出す。これらの活動により、一人ひとり互いを尊重し、人権意識を大切にする人があふれる地域社会づくりに寄与することを目的とする。</p>		
事業内容	<p>(1) ネットワークづくり事業</p> <p>① キックオフ記念イベント</p> <p>□ 開催日時 2021年7月11日 16時～18時</p> <p>□ 開催場所 猪名川町六瀬総合センター（ふらっと六瀬）</p> <p>□ 内 容 当 NPO 法人、立上げを記念して、猪名川町に造詣の深いお二人の学識経験者を招き、NPO に期待する意義や役割について講演いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西田理事長あいさつ ・北上兵庫県議会議員あいさつ <p>○ 講 演</p> <p>1) 「豊かなきずなを育てるまちづくり」 天理大学人間学部総合教育センター 富田 稔 さん 猪名川町人権推進審議会会長</p> <p>2) 「同和問題をはじめとしてさまざまな人権問題に向き合う」 帝塚山大学名誉教授 中川 幾朗 さん 猪名川町 男女共同参画推進懇談会会長</p> <p>□ 参加者 19名</p> <p>(2) 社会啓発事業</p> <p>① 第1回 人権講演会</p> <p>□ 開催日時 2021年11月20日 15時～17時</p> <p>□ 開催場所 猪名川町六瀬総合センター（ふらっと六瀬）</p> <p>□ 内 容 SNS 上での人権侵害等が問題となっている今日、猪名川町においても、部落差別に関わる内容がネット上で拡散されるなどの事案が発生している。こうした状況から、改めてインターネットと人権について考える機会とすべく、講演会を開催した。</p> <p>○ 講 演</p> <p>「インターネットと人権」 NPO 法人 奈良地域の学び推進機構・理事 京都府警察ネット安心アドバイザー 石川 千明 さん</p> <p>□ 参加者 23名</p>		

②第1回 人権学習会

□開催日時 2022年1月22日 14時～16時

□開催場所 猪名川町六瀬総合センター（ふらっと六瀬）

□内 容 当NPO法人に所属する会員向けの学習会。

猪名川町において、ネット上での部落問題に関わる事案発生など、今もなお根強く存在している部落差別について、その解消に向けて、どうしていくべきかを考える機会として、講師を招いての学習会を開催。

講 師 『学びあう「今ある部落差別」』

天理大学 人間学部総合教育センター 富田 稔 さん

猪名川町人権推進審議会会長

□参加者 20名

③第2回 人権講演会

□開催日時 2022年3月12日 14時～16時

□開催場所 猪名川町六瀬総合センター（ふらっと六瀬）

□内 容 我が国における、人権宣言ともいわれている「水平社宣言」採択され、「全国水平社」の創立から、丁度100年を迎えた。しかし、今なお根強く部落差別は現存している。猪名川町においても、ネット上での部落問題に関わる事案や、同和地区を忌避する言動など、憂慮すべき事態にある。こうした状況をふまえ、改めて「今、部落問題を考える」をテーマに、フリーライターの角岡 伸彦さんからの講演と当NPO大源副理事長を進行役に会場も巻き込んだトークセッションを行った。

○ゲスト フリーライター 角岡 伸彦さん

○進行役 当NPO 副理事長 大源 文造

□参加者 21名

(3) 具体的な人権課題への対応

2021年8月、猪名川町及び猪名川町議会を相手取り、「穢多、非人扱い」を受けたとした内容の記事が、あるブログに掲載された。インターネットにアクセス出来るすべての端末から閲覧できる状態にあり、多くの閲覧者からも懸念の声が当NPOにも寄せられた。

当NPOとしても、当然、看過出来るものではなく、事の真相究明のため、2021年9月に、猪名川町長及び猪名川町議会議長に対して、面談の上、文書により申し入れを行った。

猪名川町長及び猪名川町議会議長からは、当該ブログの発信者に対して、穢多、非人扱いを行ったような事実はないとした上で、今後の対応として、法務局及び関係機関と協議していく旨の回答を得た。また、同時にこうした状況等も鑑みて、あらためて差別や人権侵害のない社会づくりに取り組んでいく旨の基本姿勢が示された。

	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
					スタッフ	来場者等参加者
事業 スケジュール	3	4	2 1	第1回理事会：総会に向けた協議、キックオフイベントの内容についての協議	7	
	"	5	9	第2回理事会：新型コロナの感染拡大に伴う、緊急事態措置を受け、5月16日に予定していた総会及びキックオフイベントの開催について協議 結果：総会は中止として書面決議とする。キックオフイベントは延期とすることを決定。	7	
	"	6	1 2	第3回理事会：キックオフイベントの日程調整及び、再度の内容及び周知等について協議	6	
	"	"	2 9	第4回理事会：キックオフイベント開催に向けた役割分担及び準備物等についての協議	7	
	"	7	1 1	キックオフイベントの開催	7	12
	"	7	2 7	第5回理事会：キックオフイベントについて総括、以降の人権講演会についての内容協議	7	
	"	8	1 9	第6回理事会：猪名川町において発生しているネット上の部落問題事象についての情報共有及び今後の対応について協議	7	
	"	8	3 0	第7回理事会：部落問題事象が抱える問題点の整理と町長及び議長への申し入れについて協議	7	
	"	9	1 7	猪名川町長及猪名川町議会議長への面談と申し入れ 出席者：西田理事長、大源副理事長 富田猪名川町人権推進市議会会長	3	
	"	9	2 8	第8回理事会：9月17日の申し入れ時の状況等について情報共有、今後の人権講演会について協議	6	
	"	10	1 9	第9回理事会：今回の部落問題事象をふまえての人権講演会の内容について協議	7	
	"	11	4	第10回理事会：第1回人権講演会の開催に向けた役割分担及び準備物等についての協議	7	
	"	"	2 0	第1回 人権講演会の開催	7	16
	"	"	2 3	第11回理事会：人権講演会の総括、町長から回答についての協議	7	
	"	12	8	第12回理事会：町議会議長からの回答について協議、部落問題事象をふまえての、今後の学習会及び講演会について協議	7	
	"	12	2 3	第13回理事会：当NPO会員向けの人権学習会の実施について内容協議	6	
	"	4	1 1 9	第14回理事会：第1回人権学習会の開催に向けた役割分担及び準備物等についての協議	7	
"	"	1 2 2	第1回 人権学習会の開催	7	13	
"	"	2 9	第15回理事会：人権学習会の総括、次回の人権講演会の持ち方等について協議	7		
"	"	3 8	第16回理事会：第2回人権講演会の開催に向けた役割分担及び準備物等についての協議	7		
"	"	" 1 2	第2回 人権講演会の開催	7	14	
"	"	" 2 2	第17回理事会：人権講演会の総括、実績報告書作成	7		

事業効果	<p>2020年12月、NPO法人として、法人登記が完了し、本格的な活動の初年度となる2021年度、設立総会及び、法人スタートを記念するキックオフイベントを2021年5月に予定したが、新型コロナウイルスの感染拡大による「緊急事態措置」により、総会の中止及びキックオフイベントの延期を余儀なくされることとなった。また、このことは、当初予定していた年間スケジュールや内容についても、大幅に見直しをせざるを得ないこととなった。しかしながら、緊急事態措置の最終日となる7月11日に、感染対策を行い、一定の人数制限も行った上で、なんとかキックオフイベントの開催にこぎつけることができた。キックオフイベントでは、市民編成のNPOの有効性、さらには行政との「参画と協働」のパートナーとしてのあり方の確認。そして、差別のない未来の建設に向けて、果たしていくべき役割や意義について、再確認することが出来た。</p> <p>一方、猪名川町において生じた、ネット上における部落問題事象といった具体的な実践事例に対して、当法人として、どのように取り組むか、大きな試練に直面することとなった。</p> <p>数次にわたり、理事会で議論を重ねた上で、当事者となっている、町長及び町議会議長とも面談し、申し入れを行うことが出来た。そして、町や町議会としての基本姿勢や今後の取り組む方向性についても確認することが出来た。</p> <p>こうした状況もふまえ、当NPOとしても、あらためて「インターネットと人権」さらには、今なお根強く現存している部落問題をフォーカスし、学習会や講演会を企画し、身近な問題について考える機会を提供することができた。また、その学びを通して、あらゆる差別を解消していくためにも、国の「部落差別の解消の推進に関する法律」をバックボーンとした、自治体レベルの条例制定（仮称「部落差別解消条例」）の必要性を確認することができた。</p> <p>なお、猪名川町長においては、2021年10月1日に、「ソーシャル・ネットワーク・サービスにおけるあらゆる人権侵害の根絶に向けて」と題した声明文を出された。さらには、2022年度施政方針の中で、「同和問題などの差別解消に向けた「(仮称)部落差別解消条例」の制定に向けて、関係団体をはじめ外部有識者などによる検討委員会を設置し、必要な検討を進めてまいります」ことを表明されている。</p>
課題及び今後の展望	<p>コロナ禍において、人と人が集うことを第一義とする学習会や講演会、さらにはワークショップ等の開催については、会場との関係もあるが、ソーシャルディスタンスをどのように確保するか、設営や設備のあり方など、技術面も含め課題は多い。さらには、人数制限を行いながらの開催ということもあって、ネットワークの広がりをつくっていく上でも、大きな障壁となった。</p> <p>今後は、装備面の充実を図る中で、リモートによる実施、さらには参加者が対面か、リモートかを選択できるようなハイブリット形式についても検討していく必要がある。</p> <p>一方、リアルな課題に直面したことで、今後の方向性に示唆を得ることができた。次年度は、引き続きこうした課題にしっかりと向き合うとともに、自治体レベルの「仮称「部落差別解消条例」の制定に向けて、あるべき条例について、政策提言できるように準備していくことが喫緊の課題となる。</p> <p>そのため、次年度は、先進自治体の状況等の調査や研究を進めるとともに、あらゆる差別の解消という視点に立ち、部落問題のみならず、さまざまな人権諸課題の現状把握、さらにはそうした課題に向き合っている人々との、出会い、情報共有できるラウンドテーブルの創出などの企画についても検討していくこととする。</p>

(活動状況写真)

キックオフ記念イベント 2021年7月11日



第1回 人権講演会 開催日時 2021年11月20日



第1回 人権学習会 日時 2022年1月22日



第2回 人権講演会 日時 2022年3月12日



事業名 (集まれ!地域の高齢者～この池のつどい場～)

団体名	この池のつどい場 なないろカフェ		代表	岩下 奈々子	
協働団体					
活動地域	伊丹市鴻池				
事業の目的・趣旨	<p>地域の高齢者が気軽に立ち寄れる、又、他世代の方々を含む人達のコミュニティ広場となる場所を提供する。</p> <p>その場所を地域を連携した様々なボランティア団体等のイベントの場として活用する。</p>				
事業内容	<p>1. なないろカフェ事業～気軽に立ち寄れる憩いの場</p> <p>2. イベント事業 ハーモニカサロン+ご意見サロン(1/月) パソコン・スマホ勉強会(1/週) ・ 映画の日(1/月) 自由カフェ～地域の居場所～(1/週)(フットマッサージ・ハンドマッサージ) 健康マーじゃん(1/週) ・ カラオケサロン(1/月) エコハイキング(1/月) ・ 楽器で遊ぼう(2/月)</p> <p>3. レンタル事業～事業継続のための固定資産の有効活用～</p>				
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	2021	4	パソコン・スマホ勉強会	3 X 12	4 X 12
	～	～	自由カフェ(卓球)	1 X 12	3 X 12
	2022	3	ハーモニカ・ご意見サロン	4 X 12	6 X 12
			健康マーじゃん・初めてのマーじゃん(8月)	2 X 12	10 X 12
			カラオケ		3 X 6
			エコハイク	1 X 12	5 X 12
			楽器で遊ぼう	1 X 12	6 X 12
			映画の日		3 X 12
	2021	5 2 6	認知症サポート講座	1	6
		8 1 8	スマホ講座	1	7
		9 2 2	初めてのマーじゃん(スタート)		5 X 8
		9 2 9	社交ダンス体験会	1	4 X 5
		10 1 2	みずほ視察	1	1 0
		10 1 3	スマホ講座	1	6
		10 2 3	音楽交流会	2	1 0
		11 1 7	スマホ講座	1	6
		12 8	寄せ植え講座	1	5
		1 5	新年サロン	3	1 5
		1 2 6	終活講座	1	1 0
		2 9	あなたと旅と音楽と	1	1 0

<p>事業効果</p>	<p>3年目にして、ここの居場所を多くの人に知っていただくことができ、横の繋がりも持てたと思う。</p> <p>コロナ禍で、家に、とじこもりがちであったが、ここなら来ることができたと言っていた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>たくさんの方々との出会いがから、講座等のメニューが増え、1人では、厳しいと実感しました。お店は休業しますが、ボランティアとして、どこかで続けたいと思います。</p>

(活動状況写真)



団体名 こうの池のつどい場 なないろカフェ

団体設立 西暦 2018年 11月 22日

活動分野

設立目的 地域のコミュニティ広場として気軽に立ち寄れる場所の提供と地域社会に貢献することを、目的とする

地域のつどい場
居場所づくり

事業名

伊丹水とみどりのネットワーク推進プロジェクト

団体名	伊丹水とみどりのネットワークの会			代表	勝部 勉	
協働団体						
活動地域	兵庫県伊丹市内					
事業の 目的・趣旨	<p>伊丹の公園や古い街並み、河川堤防などを歩いて巡ることで市内の自然や歴史、文化などの魅力を多くの人に知ってもらい、併せて健康づくりに寄与できるウォーキングコースを伊丹市と共に設定し、2004年の会発足より定期的且つ持続的なウォーキングイベントを開催することで市民認知度を上げ、積極的に市民が参加できるようPRを行い現在に至っている。</p> <p>2021年3月に市により策定された「伊丹市生物多様性みどりの基本計画2021」においても『都市公園等を活用した健康づくりの推進』を主要施策として掲げられており、当会が設定した市内全11コースを歩いて楽しいウォーキングコースとして定期的開催しているウォーキングイベントにとどまらず、個人や家族による自発的な健康づくりでの利用が徐々に進んでいる状況にある。また、昨今のコロナ禍において市民活動の制約が多く、様々なストレスを抱える状況が増え、併せて健康への意識の高まりとともに身近なウォーキングは健全な身体を保つ上で貴重な活動と位置付けられている。</p> <p>今回、さらに市民認知度を高めるためのイベントを、コロナ禍を見据えつつ可能な限り実施するとともに、多くの市民が好きなコースを好きな時に自由に歩いていただくためコースを網羅し歩きたくなる魅力が詰った内容で且つ携帯性に優れたマップを作製することで、伊丹の魅力発信や健康づくりに寄与する。</p>					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当会で設定した市内全11コースにおいて、毎月12日（8月を除く）を「イチニ、イチニと歩く日」として市民を募り、ウォーキングするイベントを開催。 ・年度毎にイベント実施コースを決定し、チラシを作製。公共施設等に設置しPR配布。 ・ウォーキングイベントのリピートを高めていただくため、参加者用葉を作成し配布。イベント毎に該当枠へシール貼付。 ・月1～2回定例会を開催し、活動内容・広報活動・その他必要事項を検討。 ・当会が提案した全11コースに、伊丹市によって設置されている道標（木製・擬木製・ステンレス製等）の状況確認および不足部分の要望等伊丹市との調整。 ・地域FM局に出演し、イベント案内およびその魅力を発信。 ・新たなコースづくりの検討のため、会議および現地確認。 ・伊丹市の健康試作担当課等と調整し、ウォーキングイベントの魅力アップを検討・実施。 					
事業 スケジュール	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
					スタッフ	来場者等 参加者
2021		7	21	全体計画書策定	4	
		8	3	地図レイアウトの作成	11	
		9	7	11コースの検討	11	
		9	12	〃	6	
		9	22	業者との打ち合わせ	2	2
		10	5	デザイナーとの打ち合わせ	11	2
		11	17	スナップ写真の選定	7	
2022		2	1	マップの校正	11	
		2	12	マップ校正後の読み合わせ	9	
		3	1	〃	6	
		3	16	業者を含めた最終チェック	3	1

<p>事業効果</p>	<p>今回、マップ作製において委託業者さまの専門的見地からのアドバイス等もあり、大変魅力があり配布対象となる市民の皆さんに喜んでいただける事が大いに期待できる成果品となった。また、メンバー各々の意見や写真等が反映され、良い意味での「手作り感」もあり、使いやすく親しみある物に仕上がったと考えている。</p> <p>今後、ウォーキングイベントなどにおいて多くの市民の皆さんに当事業を認知してもらい大きなきっかけとして、市とタイアップしながらPRを続けていき、更なる参加者増を図るとともに、各コースを自由に巡るなど散策道利用の活性化にも繋げる事で、より多くの方々の健康づくりの一翼となり、併せてコロナ禍収束後においては賑わいある伊丹市の活性化にも寄与できるものとした。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>イベントにおける配布と併せて新たな参加者を増やすため、市内公共施設への設置依頼を検討しているが、1冊あたりの単価を考慮すると、本当に興味を持たれた方々へ、行き渡るような工夫が必要である。そのためには設置依頼先となり得る施設の利用者層や手にしてもらえそうな場所等をリサーチするなどの努力も必要と考える。それによって、団体の継続的な活動を実現していくにあたり一人でも多くの興味ある方に当会の活動を知っていただき、イベント参加に留まらず開催側としてご活躍いただける人材を確保したい。</p>

(活動状況写真)



団体名 伊丹水とみどりのネットワークの会

団体設立 西暦 2004 年 7 月 20 日

活動分野 1. 保険・医療・福祉

設立目的 市民が水とみどりの散策に親しみを持ち楽しむために必要な活動を行う事を目的として設立。

2. まちづくり
3. 環境保全

事業名

(地域の魅力発信地域情報「tocotoco」発行&まちなかマルシェの開催)

団体名	市民活動団体まちおもい			代表	藤本美穂
協働団体	なし				
活動地域	伊丹市・川西市・猪名川町				
事業の目的・趣旨	<p>(目的) 川西市・猪名川町を中心とする阪神北地域の魅力を広く発信する。 子育て世代の女性の目線で「まちの魅力・そこで暮らす人の想い」を丁寧洗い出し、読者の地域に対する理解と愛情を深め、人と人の交流を促進する。</p>				
事業内容	<p>①地域情報誌「tocotoco (とことこ)」の発刊及びそれに係る記事内容の調査・取材 》2021年～2022年の感染症拡大による家庭や外出できない環境などにより、取材・製作・配布が遂行できませんでした</p> <p>②SNS等を活用した情報発信 ①に関する情報発信は上記によりできませんでした。③についてマルシェ出店者をHPやSNSで紹介を行い、地域の情報発信に努めました。 facebook フォロワー tocotoco : 500名 (平均リーチ 200～1000) まちなかマルシェ : 112名 (平均リーチ 100～700) instagram フォロワー557名 (リーチ 700) HPにて出店者を紹介</p> <p>③まちなかマルシェの開催 [新規事業] 地域情報誌 tocotoco で取り上げた団体やお店の人と地域の人が直接つながることのできる場をしてまちなかマルシェを各地で開催</p> <p>企画を実施し、出展募集を実施。ただし、感染症拡大により緊急事態宣言/まん延防止措置期間となった場合は、外出機械の低減と出店者の安全のために開催を見送ったため、当初予定時期には開催できませんでした。 各種期間の合間となった12月と1月に各市町で開催。 2021年12月11日・2022年1月8日に川西市 オアシスタウンキセラ川西で開催 (12月出店数16店、来場者1000人 1月出店数5店来場者数800人) 2022年1月9日に伊丹市 オアシスタウンキセラ伊丹鴻池で開催 (出店数4店、来場300人) 2021年12月18日・19日と2022年1月15日・16日に猪名川町日生中央サピエで開催 (12月出店数24店、来場者2000人 1月出店数8店来場者数500人) ※来場者数は概ねの通行者を独自に算定。商業施設内のため通行と立寄りを明確区分はできていません。 地域の魅力あるクリエイターの交流の場を提供することができました。</p>				
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)			参加人数 (人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	2021	12	11	3	1000
		12	18. 19	33	2000
	2022	1	8	3	800
	2	1	9	2	300
	2022	1	15. 16	3	500
			<p>事業概要</p> <p>オアシスタウンキセラ川西まちなかマルシェ開催 日生中央サピエでまちなかマルシェ開催 オアシスタウンキセラ川西まちなかマルシェ開催 オアシスタウンキセラ伊丹鴻池でまちなかマルシェ開催 日生中央サピエでまちなかマルシェ開催</p>		

事業効果	まん延防止や緊急事態宣言が発令されていない短い期間を利用してとなったがお店の人と地域の人が直接つながることのできる場とすることができ、限られた回数の中ではあったが多くの人が交流するきっかけを作り地域の魅力あるクリエイターの交流の場を提供することができました。
課題及び今後の展望	地域内で活動する新たなクリエイターの発掘、さらに幅広い年代へのアプローチを課題とし、今後も可能な限り定期開催をすることにより地域に根差した活動を展開していきたい

(活動状況写真)





団体名 市民活動団体 まちおもい

団体設立 西暦 2019 年 3 月 1 日

活動分野 まちづくり

設立目的 本会は、川西市・猪名川町・能勢町・豊能町を核とした猪名川流域の北摂地域を中心に、人々の日々のくらしを地域（まち）に根差して豊かにすることに着眼したイベントや企画、情報発信を実施することにより、多くの人に「自分らしく豊かに地域で暮らす」ことを意識し実践に繋げるきっかけづくりや支援及び交流の場を創造することで、地域活性化に寄与することを目的とする。

事業名	(わくわく! ときどき! はじめての英語! 小学生、Come on!)
------------	--------------------------------------

団体名	Apple kids	代表	増岡 由紀子		
協働団体					
活動地域	川西市				
事業の目的・趣旨	<p>これまで「阪神北☆夢づくり応援事業」の助成を受けて活動する中で、主に 0~3 才の幼児に対する子育て支援や英語教育を実施してきました。</p> <p>参加いただいた子どもたちやその親御さんからは、地域内で気軽に参加できるコミュニティとして好意的なご意見をいただきましたが、一方で小学生以上の児童も参加できるようにしてほしいという声もたくさん寄せられました。</p> <p>そこで、従来の未就学児のみではなく小学生以上も参加できる英語教室を開催することにより、地域の子どものための英語の学習機会を提供するとともに、幅広い年齢層の子どもたちが相互に交流できる居場所づくりを行いました。</p>				
事業内容	<p>1 英語教室の開催 年間 15 回、川西公民館と明峰公民館で開催しました。 子ども達が気軽に英語に親しめる機会を提供しました。 【主な内容】 英語であいさつ、アルファベットで遊ぼう、英語で自己紹介、ナンバーで遊ぼう、英語で色遊び、英会話たいそう、異文化体験ハロウィン、英語絵本づくり</p> <p>2 実行委員会の開催 年間 8 回、参加いただいた子ども達や親御さんからフィードバックをいただきながら、よりよいプログラムの検討を行いました。幼児、小学生を対象に地域の集まりやすい公民館で英語に触れる機会を設けました。</p>				
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)	事業概要			参加人数 (人)
		スタッフ	来場者等参加者		
	R3	4	27	実行委員会①	3
		6	1	実行委員会②	3
		7	13	英語であいさつ (KAWANISHI)	3
		7	27	アルファベットで遊ぼう① (KAWANISHI)	6
		8	1	実行委員会③	2
		8	10	英語で自己紹介 (KAWANISHI)	7
		8	24	ナンバーで遊ぼう (KAWANISHI)	3
		8	31	英会話たいそう① (KAWANISHI)	7
		9	1	実行委員会④	8
		10	1	実行委員会⑤	4
		10	18	異文化体験ハロウィン (MEIHO)	3
		10	23	英語で色遊び (KAWANISHI)	8
		10	26	異文化体験ハロウィン (KAWANISHI)	9
		11	1	実行委員会⑥	3
		11	19	英語で自己紹介 (MEIHO)	10
		11	27	アルファベットで遊ぼう② (KAWANISHI)	4
		11	30	英会話たいそう② (KAWANISHI)	8
		12	1	実行委員会⑦	3
		12	14	英語絵本づくり (KAWANISHI)	9
		12	17	英語で色遊び (MEIHO)	7
		12	20	英語絵本づくり (MEIHO)	7
	R4	1	17	アルファベットで遊ぼう (MEIHO)	5
		1	26	実行委員会⑧	7

<p>事業効果</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、三密の回避が呼びかけられる中、子ども達の居場所が急速に失われつつありましたが、英語教室を定期的を開催することで、子ども達に学校と家庭以外の居場所を提供することができました。</p> <p>また、これまでの子育て支援活動の経験を活かし、地域の親御さんからのご相談にも積極的に対応しました。今後も引き続き子どもの教育と地域のつながりづくりのサポートを行っていききたいと思います。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>事業の周知方法について、チラシの配布以外にインターネット上でイベントの告知ができるようになればより多くの方に知ってもらうことが可能になるかと思えます。特にインターネット上で参加申込ができるようなシステムがあれば利便性が高まると考えられます。</p> <p>ただし、ホームページ作成に伴う技術的な課題や、掲載する写真の取扱いについては今後十分に検討していききたいと思います。</p> <p>今後の展望としては、地域の他団体とも協働して活動を実施するとともに、事業を通じて新たな地域活動の担い手づくりも行っていきたいと考えています。</p>

(活動状況写真)



団体名 Apple kids

団体設立 西暦 2003 年 4 月 9 日

活動分野 子どもの健全育成

設立目的 子育て中の親子が体を動かしてスキンシップをはかる機会を提供する。
また子育て中の悩みを親同士が共有することで不安感・孤独感を解消する。

事業名 (みんなでやってみたい「小さな里山づくり」)

団体名	地域で育てる仲間づくりの会		代表	深川 啓子		
協働団体	なし					
活動地域	伊丹市瑞穂小学校地域					
事業の目的・趣旨	<p>自然環境は一度失われると再生が難しい。生産緑地制度を使って都市農地を3年間無償で借受け耕作する。太陽、水、空気と共に自然の持つ力が生きる力につながる。土に親しみ、食育、五感を活かすことで心身を鍛え人を育てる。</p> <p>25年間の子育て支援を屋外活動へ防災意識を高め次世代へ持続可能な住みよいまちへ地域の絆を強め、地域活性化へつなげる。</p>					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育所、小学校とその保護者と学校の協力のもと農作業を体験、地域住民ボランティア協力員との交流で地域の誰もが安心安全な住みよいまちづくりを勧める。 ・3年間で、さつまいも、そば、玉ねぎ、じゃがいも、そら豆、里芋等季節の野菜の植え付け収穫を一緒にすることで心身を養う。また、四季折々の草花を植える。 ・災害に備え炊き出し、野外料理で旬を楽しむ。(かまど体験) ・手作りコンポストをつくるも虫がわき、土にかえした。 ・協力員の仲間意識を高める。共に耕作する喜びを体験、懇親会バーベキューや持ち寄り茶話会 試食(活動終了時 休憩時間)などをする。 					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要		参加人数(人)	
					スタッフ	
					来場者等参加者	
	3	8	1	イベント 開所びらき(収穫祭) 10時～ 【夏野菜の収穫】しそ なすび おくら とまとピーマン等の持ち帰り 枝豆は茹でてみんなで試食会 里山「みずほ」看板の前で完成記念撮影 【製作】生花、牛乳パックを使った花かごづくり イベント秋の収穫祭 赤玉ねぎと玉ねぎ 300本植付け 【野菜収穫】さつま芋 里芋 ラディシュ(20日大根)白菜 かぶ等収穫持ち帰る。畑で写真撮影 とん汁(畑で収穫された野菜入り) コスモスの花は切り花に。参加費 200円(3歳～) イベント 「遺族会館ありがとう さようなら」 伊丹市緑ヶ丘公園内 遺族会館(屋内最後の活動) 姫路より動くこどもの館号の来訪親子遊び・人形劇など 【製作】CDケースで手作りフォトフレーム(木の実ビーズ等をつける) 【読み聞かせ】紙芝居 【工作】牛乳パックでぶんぶんごま作り 【昼食】手作りおもちであんこもち、きなこもち 果物、野菜のお菓子 お漬物 【プレゼント】公益財団法人 兵庫県青少年本部 ひょうご子ども若者応援団より ・六甲バターより ベビーチーズ ・兵庫県モラロジー青少年団体連絡協議会より カラーペン 鉛筆 お絵描き帳	14	3家族 大人3人 子ども7人
		11	14		14	33人 大人14人 子ども16人 幼児3人
	4	1	7		6	参加者合計 36人 子ども19人 大人6人 講師5人

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一度放置すると田んぼの土はコンクリートの様に固く耕運機が使いにくい。 ・少しの雨でも畝や畦一面に水がたまり、水が湧くことが分かった。 ・貴重な助成金で真砂土、腐葉土、苦土石灰、肥料、試作の苗、種子、バケツ、スコップ、ハサミ、防寒防虫あみ、支柱、草刈り機等を購入、寄付金で灌水機を買ったが熱源のガソリンが多量に必要となるのが難点。 ・手作りした「里山みずほ」の看板の周囲を四季の草花（コスモス・ひまわり・菜の花）を植え四季を感じられるようにした。イベントにより地域にこの活動を周知することができました。しかし、子どもと保護者が植えた草花の種子は風雨により流され発芽しなかった。 ・楽しみにしていたそば作りは春と秋に2回種まきを綺麗な花を咲かせ収穫、乾燥までできたがそばの実が少なくそば打ちまでは至らなかった。 ・自然のいとなみを知る農作業体験は異世代交流で旬を味わう食育の大切さを体験できた。 ・水・土・空気・太陽の恵みは体力、五感を養い子どもの健全育成につながると信じる。 ・コロナウィルスの為イベントの参加は少なかったが大地からの恵みは参加者に大変喜ばれた。 ・水路に水が流れてこない為、水対策、台車で水を運ぶ。
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>コロナ対策で地域の催しが中止、自己資金の調達が全く出来なかったが、阪神北☆夢づくり応援事業、赤い羽根共同募金による多額の貴重な助成金で私達の活動をしっかり支えてくださり誠にありがとうございました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年目は土壌改良と土にあった作物を植えて育てること。水対策としてユンボで水路・ため池をつくる。 ・未経験者の多い集まりは、多くの人の知恵と工夫により楽しく異世代交流、仲間づくりを勧めることができた。農作業は天候に左右され悪戦苦闘するも、食育はロス食品をなくし次世代につながる楽しみもある事業だと確信がもてた。 ・活動日は毎週日曜日としているが、それ以外も自由参加とし誰かの見守りと往来する人々の目を楽しませ癒しになって声をかけてくれる人達ができる。新しい出合いは室内から室外へ都市農業を守り、地域を活性化、地域の環境保全につながると信じ2年目のそばづくりと土壌づくり、多種の野菜づくりに挑戦したい。

(活動状況写真)



団体名

地域で育てる仲間づくりの会 地域子育て交流ルーム実行委員会

団体設立

西暦 1996年 4月 1日

活動分野

子どもの健全育成、環境保全、社会教育、

設立目的

平成8年
子育て支援で地域の仲間づくりを勧め、防災意識を高め生きる力を育てる。

事業名	(かわにし Woman Create クリエイトフェスタ)
------------	-------------------------------

団体名	川西女性起業家ネットワーク Woman Create	代表	阪上 明子	
協働団体	川西市（後援）、川西市中心市街地活性化協議会（後援）			
活動地域	兵庫県川西市を中心に近隣市町			
事業の目的・趣旨	<p>環境もよく住みやすい川西市をさらに盛り上げるために、パワフルで繊細かつ心配りできる女性起業家が集結し、手作りアクセサリーやマッサージ、カードセッション、メイク指導、子育て相談など各人の得意分野を活かしたイベントを開催する。</p> <p>開催3ヶ月前から事前告知をし、地域内外から多くの方にご来場いただくことで、川西市の女性の魅力とパワーを感じていただくことを目的としている。</p>			
事業内容	<p>かわにし Woman Create クリエイトフェスタの開催 開催日時：2021年11月3日（水祝）10：00～16：00 開催場所：アステホール（アステ市民プラザ） ペDESTリアンデッキ（阪急川西能勢口駅とJR川西池田駅をつなぐ歩道橋）</p> <p>内 容：かわにし Woman Create に所属する正会員の事業発表の場としてマルシェを開催する。40名を超す会員の事業発表の場であり、駅前という好立地において、人と人を結びつける役割を果たしており、事業開催後のアンケートでは高評価をいただいている。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、会員から屋外開催の提案があったため、川西市中心市街地活性化協議会のご協力のもと、駅前のペDESTリアンデッキ（陸橋）の一部で同時開催を行った。</p> <p>この場所については川西市が「第3期中心市街地活性化基本計画」として対象区域に挙げている場所であり、「回遊性を向上させ、相乗的ににぎわいが生まれるまち」「働く場所、魅力的な場所を増やし、活躍する人が生まれるまち」という計画の基本方針に沿った事業内容になっている。</p>			
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		参加人数（人）	
			スタッフ	
			来場者等参加者	
	3	5 26	定例会・メンバーへの概要説明	42
		6 22	定例会・メンバーへの詳細確認	42
		7 14	クリエイトフェスタ 出店者募集	42
		7 17	定例会・出店者確定	42
		8 7	チラシの作成・SNS広報開始	42
		8 24	出店者／スタッフ打ち合わせ	20
			広報写真の回収	42
		9 4	定例会・詳細確認	42
		10 18	会場打ち合わせ	20
		10 4	市内広報掲示板にポスター掲示開始	42
		10 28	定例会・最終確認	42
	11 3	クリエイトフェスタ本番	42	
	11 4	市内広報掲示板のポスター回収（1ヶ月）	42	
	11 18	会計・アンケート集計などスタッフ会議	42	
	11 30	定例会・最終報告	42	
			600	

<p>事業効果</p>	<p>今年度は、常連の方はもちろん、初めてという方も多く参加いただくことができた。中には、月一定例会の情報交換会に参加したいという方や、別の出店の機会を提案くださった方もおられ、このイベントをきっかけに新たなつながりを生み出すことができた。 駅前デッキをはじめ、川西市の駅前地域の活性化にも寄与することができた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>例年と比較すると、新型コロナウイルスの影響により人出が少なく、特に屋内会場に関しては客足が伸び悩んだ。 イベントの実施に当たり、感染予防対策を徹底し、参加者の安全面には十分配慮していることを打ち出せばもう少し集客ができたのではないかと考えている。 また、コロナ禍において屋内のイベントをどのようにPRしていくかが今後の課題となる。</p>

(活動状況写真)



団体名 川西女性起業家ネットワーク WomanCreate

団体設立 西暦 2017 年 1 月 1 日

活動分野 まちづくり

設立目的 川西市近郊の女性起業家同士をつなぐネットワークづくりを行う。
地域内に横のつながりを強化し、お互いの悩み相談やアドバイス、勉強会など有益な活動の場を提供する。

事業名	(都市と農村の交流)
------------	--------------

団体名	波豆川区			代表	平岡 亮一			
協働団体	波豆川区							
活動地域	三田市							
事業の目的・趣旨	<p>三田市内のニュータウンの保育園児、幼稚園児、その保護者や先生に波豆川に来てもらい、農作業を体験してもらうことを目的に活動を行っている。</p> <p>都市と農村の交流を深めるとともに、参加してもらった子ども達には、農作物を作る事の楽しさ、大変さ、良さを実際に体験してもらうことを通じて、農業に対する知識・理解を深めてもらいたいと考えている。</p>							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北摂幼稚園、さんだのもり保育園、北摂幼稚園卒園生（現小学生）、保護者、先生を対象に、サツマイモ苗植え、田植え、サツマイモ収穫、稲刈り等の農作業体験をしてもらった。作業後には、実際に自分たちが育てた作物を収穫して食べてもらった。 ・作業後に、波豆川区内の神社やコスモス畑を散策してもらい、ニュータウンの方々に地域の魅力に触れていただいた。 ・今回は女性スタッフ2名が中心となり、保育園・幼稚園との折衝や、作業日程、作業内容の確認等を担当してもらい、スムーズに事業を実施することができた。 							
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要				参加人数（人）	
						スタッフ	来場者等参加者	
	3	5	24	北摂幼稚園	サツマイモ苗植え準備	}	5	
	3	5	25	北摂幼稚園	サツマイモ苗植え			100
	3	5	29	北摂幼稚園卒園生（現小学生）	サツマイモ苗植え準備			
	3	5	30	北摂幼稚園卒園生（現小学生）	サツマイモ苗植え			42
	3	6	1	北摂幼稚園	コシヒカリ田植え準備			
	3	6	2	北摂幼稚園	コシヒカリ田植え			42
	3	9	20	北摂幼稚園	コシヒカリ稲刈り準備			
	3	9	21	北摂幼稚園	コシヒカリ稲刈り			100
	3	10	19	北摂幼稚園	サツマイモ収穫準備			
	3	10	20	北摂幼稚園	サツマイモ収穫			100
	3	10	22	北摂幼稚園卒園生（現小学生）	サツマイモ収穫準備			
	3	10	23	北摂幼稚園卒園生（現小学生）	サツマイモ収穫			100
3	10	27	さんだのもり保育園	サツマイモ収穫準備				
3	10	28	さんだのもり保育園	サツマイモ収穫	40			

<p>事業効果</p>	<p>都市と農村の交流が出来て、保育園児、幼稚園児、保護者の方たちに喜んでもらえ農業の楽しさ、大変さを肌感覚で感じ取ってもらうことができた。</p> <p>波豆川の住民たちにとっても、子ども達と接することで新たな刺激を受けているとともに、今後も新しい事業に取り組んでいきたいというモチベーションにつながっている。</p> <p>将来的には、今回の事業に参加した子供たちが地域で農業に取り組んでもらえたらと期待している。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>当面は現在の組織体制で活動を続けられそうであるが、将来的に農業の後継者の育成が区としての課題になると考えられる。</p> <p>波豆川の農業文化を次世代に継承していけるように、今後もこの地域の魅力を対外的に PR していきたいと考えている。</p>

(活動状況写真) 別紙



団体名 波豆川区

団体設立 西暦 2018 年 5 月 25 日

活動分野 ・まちづくり

設立目的 農業体験を通じて都市と農村の交流を図る。

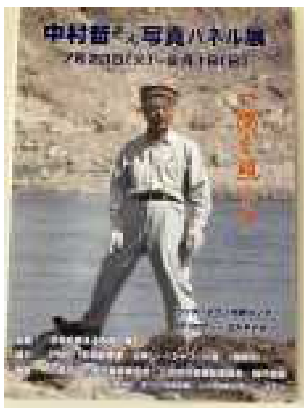
・子供たちの健全育成

事業名	(中村哲医師写真パネル展)
------------	-----------------

団体名	平和を考える市民の会	代表	永井 和男
協働団体	福岡市「ペシャワール会」		
活動地域	三田市及び兵庫県全域		
事業の目的・趣旨	<p><u>中村哲医師がその生涯を賭けて示した「武器に頼らない平和への強い意志と現地住民の立場に立った、治水灌漑事業や農作事業の自給自足基盤構築を实践した姿」を学び、平和を考える機会とすることがこの事業の狙いです。</u></p> <p>米軍の撤収により混乱の渦中にあるアフガニスタンにおいて、中村医師が築いた治水灌漑施設の功績や、現地のワーカーの方々が遺志を継ぎ新たな治水灌漑施設建設を行っていることを市民の皆さんに知って頂くことが目的です。</p>		
事業内容	<p>「一隅を照らす、中村哲医師の写真パネル展」 開催期間：令和3年7月20日～8月1日の13日間 会場：三田市ウッディタウン市民センター</p> <p>1Fギャラリー 弊会作成の11枚のパネルボードに、医師の紹介、医師の業績、医師の医療から土木事業への変遷の背景、現地の自然災害や貧困の実態、独学で習得した土木技術、医師の関連書籍、ペシャワール会の活動を掲示。また、三田市立図書館と連携し、「中村哲書籍読書コーナー」を設置。</p> <p>2Fギャラリー 福岡市「ペシャワール会」よりお借りした42枚の写真パネルを展示。</p> <p>※「次代を担う若者との平和討論会」を令和3年8月1日に予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により関係機関との調整が難航しているため、令和3年12月4日（中村医師の命日）での実施を検討しています。</p>		
事業スケジュール	実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）
			スタッフ 来場者等参加者
	3	4 20 実行委員会企画会議	8
		5 11 ワークショップ企画ファシリテーター打合せ	3
		14 ペシャワール会「パネル写真借用等の打合せ」	2
		18 1Fギャラリー展示用パネルボード内容の検討	10
		掲示内容の検討継続実施⇒6/25	6～8
		25 三田市全学校への配布チラシと新聞折込用チラシ内容決定⇒5月6日～5月20日検討会議実施	6～8
	6	07 チラシ発注実施	2
		20 実行委員会企画会議（開催全日程のスクリーニング）	8
		25 ペシャワール会「書籍見本等関連」打合せ	2
		26 新聞折込チラシに関する打合せ	3
		三田市全小中高校配布14,000枚のクラス別チラシ仕分け作業の実施⇒配布実施6/27～7/17	11
		イベント開催準備内容のチェック・スクリーニング	
	7	04 1Fギャラリー展示パネルボードの発注作業	2
		14 実行委員会準備日作業工程の最終チェック、開催全日程担当役割分担の決定、総点検の実施	8
		17 パネルボード発注作業	2
		19 1・2F会場設置作業	11
		20 「中村哲さん写真パネル展」開会	全日程
	8	01 「 ” ” 」閉会	延べ 1000超

<p>事業効果</p>	<p>全期間で延べ(1・2F 受付カウンターにて計測)1,000 人の方から訪問いただき、約 30%が三田市以外の市民(神戸市など 14 市町)でした。更に、三田市内の小中学校全生徒にチラシ配布したこともあり、保護者同伴での来館が多く見受けられました。また、中高年者も多く来館いただき、96 歳の方にも訪問いただきました。</p> <p>また、展示会内で感想ノートを設置したところ、228 名の方に記帳いただきました。特に、中村医師の功績に感銘を受けたという内容が多く書かれていました。</p> <p>写真展を通じて、阪神北地域にとどまらず、三田市民と兵庫県他市民との交流の機会を提供できたのではないかと思います。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>まだまだ新型コロナウイルスの影響が続いており、学校を始めとする関係機関との調整は難航している状況です。</p> <p>今後のよりよい運営方法を模索しながら、引き続き事業を実施していきたいと思ひます。</p>

(活動状況写真)



ウェルカムボード



写真展 会場



参加者の様子



参加者の様子

団体名 平和を考える市民の会

団体設立 西暦 2018 年 4 月 1 日

活動分野 平和活動、社会教育、人権擁護他

設立目的 世界の恒久平和を目指した日本国憲法の理念を市民一人ひとりが理解を深めて、将来に亘って平和で戦争をしない日本の国を築くために可能な市民活動を実施する。

事業名 (男性に地域社会活動への参画を促す 「パンダ・プロジェクト」)

団体名	男性の地域社会デビューを応援する会 (略称だんデー会)	代表	土井 一雄
協働団体	伊丹パンダ・チーム、		
活動地域	伊丹地区を拠点とし阪神北地域での展開を目指している		
事業の 目的・趣旨	<p>女性に比べて男性の参加率が極めて低い事は、現状の地域社会活動の課題のひとつです。そこで参加へのきっかけづくり策として、男性にパンづくりを学んでいただき、学んだパンづくりの技で地域の人々に喜んでいただけるボランティア活動を始めていただく事により、新たな生きがいづくりを目指していただくという事業です。実は、パンダ・プロジェクトは神戸では数年前より「パンじいプロジェクト」という名称で始められています。そのノウハウをベースにまず伊丹からスタート。将来的には阪神北地域に活動範囲を広げ地域活性化に寄与したいと考えています。ただ、パンじいの名称は神戸地域での活動にのみ使用が認められているとのことで伊丹では、「パンづくりだんせい」の略称＝パンダをプロジェクト名称とすることにしました。このパンダプロジェクトをきっかけに、だんデー会では今後も人生百年時代の長い老後ライフを多くの男性に生き生きと過ごしていただくための、新たな生きがいづくり、ライフスタイルづくりを提案してまいりますと考えています。</p>		
事業内容	<p>事業運営組織：だんデー会では、以前よりデザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO が企画・実施された「パンじいプロジェクト」に注目。その運営ノウハウの習得に努めてきた成果を活用し、WITH コロナ時代に対応した新たな工夫も加えながらの事業運営を目指しています。</p> <p>●「プロからパンづくりを学ぶパンダ養成講座」開催</p> <p>7月～9月参加者募集活動 メイン・ターゲットである家に引きこもりがちなリタイア男性の参加を促すのは難しい作業になる。広報活動に加えてこれまでだんデー会として培ってきた人脈ネットワークを活かし受講生を募集。第1期生としては10名集めました。</p> <p>10月～11月 講座開催 プロ指導講座2回、自主練講座2回 プロ講師は、伊丹でも行列のできるパン屋さんのひとつとして知られる「がおさん家のパン屋」のオーナーシェフ井上賀夫氏にお願いした。自主練講師としては料理教室講師として伊丹で活動されている加藤彰久氏にお願いした</p>		

トからスタートし11月中に終了する予定だったが緊急事態宣言の発令で、オリエンテーションイベントを10月24日に延期、10月31日・11月14日を、プロ指導講座日、11月7日、11月28日を自主練日として、スタート時期は遅れたが予定通り11月中に終了させた。

※開催場所 伊丹・アイ愛センター調理室

ボランティア活動スタート

- 12月20日 自主練を兼ねて1回目のボランティア活動としてパンづくりし、二つの子ども食堂グループに出来立てのパンをプレゼントした
開催場所 伊丹アイ愛センター調理室

- 1月9日 今後のパンダチームの活動について検討する
新年打ち合わせ会をだんデー会、パンダチームメンバー合同で開催。オミクロン株による感染拡大が続く中で、パンダチームとしては、3月末までは、自主練、ボランティア活動は休止し、4月より始める子ども食堂支援活動をはじめとする来期の活動のための準備期間とすることにした。

- 3月20日 第1回パンダチーム運営会議

来期より、第3日曜日9時より自主練講座を自主開催しパンづくりの発酵タイムに活動方針を検討する運営会議を開催することにした。その第1回目として、4月よりの活動方針を検討する会議の開催を予定している。
開催場所：いきいきプラザ会議室

- 3月27日 第1回視覚障害者のためのパンづくり教室 (参考:費用発生なし)

パンダチームのメンバーのひとりである全盲の古川やすひろ氏より、提案があり、「実際にやってみてわかったのだが、パンづくりワークは視覚障害者も楽しめるので、視覚障害者仲間呼びかけのところ、やってみたいという仲間が10人ほど集まり、養成講座の講師である井上賀雄氏も協力する、開催予定のアイ愛センターもパンの材料を計量する音声付秤を用意することなのでだんデー会として開催協力してほしい。」という要請があり、準備を進めている。なお、本企画に関しては、神戸KITOに報告したところ、KITO3階に新設されたパンづくりコーナーでも開催してほしいということで3月18日にKITOにて打ち合わせることになった。

スケジュール				スタッフ	来場者 等参加 者	
3	8	1	バンダプロジェクト運営会議 スケジュール検討	6		
3	8	22	がおさん家のバン屋 バンダ講座講師依頼	2	1	
3	9	4	バンダプロジェクト運営会議 宝塚ソリオ2エルにて今後の活動内容の協議	6		
3	10	2	バンダプロジェクト運営会議 事業内容確認	3		
3	10	24	バンダ事業オリエンテーション・イベント	8	9	
3	10	31	バンダ養成講座プロ指導日第1日目	4	5	
3	11	6	バンダプロジェクト運営会議 事業内容検討	3		
3	11	7	バンダ養成講座自主練日第1日目	3	4	
3	11	14	バンダ養成講座プロ指導日2日目	2	6	
3	11	28	バンダ養成講座自主練日2日目	3	4	
3	12	20	ボランティア活動スタート	3	20	
4	1	9	バンダプロジェクト運営会議新年会	7		
4	3	20	第1回バンダチーム運営会議			
4	3	27	第1回視覚障害者バンづくり教室 (急務)	5	10	

事業効果	様々な地域イベントで生き生きと活躍するバンダチームの活動をリアルに見せることにより、リタイア後引きこもりがちなシニア男性に地域社会活動への参画を促す効果を期待している。と同時に、バンダチームとしてボランティア活動への自主的な展開により阪神北地域での地域活動の活性化に寄与することも目指している
課題及び今後の展望	だんデー会としてはバンダ事業を軸に、現状では希薄なボランティアグループ間の連帯感づくりに努め、様々な面でコラボ事業を展開したいと考えている。さらに、バンダチームの自立化を目指し将来的にはコミュニティ・ビジネス化も狙っている。

(活動状況写真)



10/24 オムレツ作り







団体名 男性の地域社会デビューを応援する会

団体設立 西暦2019年3月

活動分野 まちづくり、リタイア男性支援

設立目的 会名通り、現状では女性に比べ極めて低い地域社会活動への男性の参加率を高めることを目指している。そのために、人生百年時代の新たな生きがいづくりとして地域男性に提案したのがこの度のパンダ養成事業です

事業名	(子育てに不安のないまち、みんな一緒にスマイルプロジェクト)
------------	----------------------------------

団体名	特定非営利活動法人 ほっと宝塚子育てネットワーク	代表	理事長 島田史子			
協働団体	宝塚市助産師会					
活動地域	宝塚市					
事業の目的・趣旨	当団体の「居場所」事業は、居住地近くに「安心・安全な居場所」「相談や支援が受けられる場所」として「きずなの家ほっとサロン」を開設し活動を行っています。また同場所で、宝塚市助産師会による宝塚市母子保健の事業を実施しています。妊産婦および子育て家族が問題を「抱え込む」のではなく幅広い専門職の連携の中、一つの解決方法の糸口として提示できる知識や協力していただける専門家の連携先の確保・従事者の新しいスキルアップ及び子育て家族及び子育てに関心のあるスタッフ確保のため本事業の目的としました。					
事業内容	<p>① 理学療法士による 妊娠～産後の健康を考える講座 講師：太田麻友（理学療法士） おうちでトレッチ体操をしましょう 開催月日 7/14/ 9/15 10/6 11/10 12/7 10：00～13：00 開催場所 きずなの家ほっとサロン 参加者 妊娠中・産後など腰痛、肩こり、骨盤関連の身体不調の方 15名(内オンライン4名)</p> <p>② 税理士による「子育て家族のための子どもとお金の教育のことについて」講座 講師 佐原税理士事務所 佐原三枝子先生 開催月日 11月6日(土) 10：00～12：00 開催場所 きずなの家ほっとサロン 参加者 7名 当日参加できない方には、講座収録録画を後日「きずなの家ほっとサロン」にて聴衆できるようにしました 後日視聴者 5名</p>					
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要	参加人数 (人)		
	3	6	1	■事業ホームページ作成開始■	1	
				■理学療法士による妊娠～産後の健康を考える講座■		
	3	6	20	1回目開催ホームページ掲載・予約開始	1	
	3	6	28	運営内容の確認打ち合せ	6	
	3	7	14	1回目専門職相談及び終了後専門職、役員との反省会	6	3
	3	8	17	2回目開催ホームページ掲載・予約開始	1	
	3	9	15	2回目専門職相談終了後専門職、役員との反省会	6	3
	3	9	16	3回目開催ホームページ掲載・予約開始	1	
	3	10	6	3回目専門職相談終了後専門職、役員との反省会	6	3
	3	10	16	4回目開催ホームページ掲載・予約開始	1	
	3	11	10	4回目専門職相談終了後専門職、役員との反省会	6	3
	3	11	20	5回目開催ホームページ掲載・予約開始	1	
	3	12	8	5回目専門職相談終了後専門職、役員との反省会	6	3
	3	12	14	専門相談 実績報告と今後の展開について会議	6	
				■税理士による講座■		
3	9	8	講師打ち合せ	1		
3	10	16	ホームページに開催掲載・予約開始	1		
3	11	2	講師打ち合せ	1		
3	11	6	講座開催 (講座後施設にて録画視聴)	3	7(5)	
3	12	22	実績報告作成	3		

<p>事業効果</p>	<p>① 講座では、妊娠中～産後の腰痛や肩こり等の身体不調に対し、助産師会事業と協働により、利用者の不安を取り除き、将来的な身体上の課題解決の援助に結びつけることが出来ました。又、個々の課題が様々なためインターネット活用による集団的なアプローチは困難でした。</p> <p>② 実参加が少なかったが、講座録画を活用によりスタッフ教育及び「きずなの家ほっとサロン」利用者が「子どもと金銭トラブル」「教育は将来の投資」「親子で話し合う場を持つ」ことが重要であると学習できました。今後も講座録画を活用して利用者に子育てと経済の話を学習の場を提供します。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>① 理学療法士講師による個別相談は、必要性を実感しているため、法人、協働団体の専門職との連携に結び、子育て家族の健康維持に繋げて行く予定です。有償化については利用者の一部負担も検討課題と考えます。</p> <p>② 税理士講座は、子育て家族等の大人を対象として講座を実施したが、AI 社会に向けて、親子で討議する機会を来夏に計画したいと思います。</p>

(活動状況写真)



理学療法士による相談事業(オンライン)



理学療法士による相談事業(来館)



税理士講座



団体名 特定非営利活動法人 ほっと宝塚子育てネットワーク

団体設立 西暦 2014 年 3 月 20 日

活動分野 子育て支援等

設立目的 子育て家族に対して、市民団体・行政・企業との連携を図り、地域のとのつながりを容易にするための福祉サービスや情報通信サービス等に関する事業を行い、子育てを安全安心に行える地域社会の構築と発展に寄与することを目的とする

事業名 (読書・地域交流活動応援、地域担い手土壌づくり)

団体名	はなまるクラブ	代表	福島 美香子
協働団体	多田コミュニティ協議会 新田自治会 開放委員会 川西市福祉部 地域福祉課 川西こども家庭センター 特定非営利活動法人兵庫空き家相談センター 川西市教育委員会 川西市多田小学校 川西市立多田幼稚園 多田こどもの森保育園 多田公民館 川西ボランティア連絡協議会 多田小学校区人権啓発推進委員会		
活動地域	阪神北県民局内 猪名川町 川西市 宝塚市 伊丹市		
事業の目的・趣旨	「スポーツ21や開放委員会が企画する交流やスポーツデー等に企画段階から携わる」という活動を新規事業（青少年の社会参加）として追加し、はなまる隊のスキルアップ講座、読書活動推進のため、川西市中央図書館との意見交換会を通じて自習室づくり（青少年の自立支援と国際交流できる居場所）、豊かな心を育むはなまる隊養成講座を拡充する（青少年を含む世代間・地域間交流）。猪名川町、宝塚市だけでなく、他市の団体や学校とも連携するために、社会貢献活動したい高校生・大学生のボランティアの発掘や場の提供という活動を展開する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生きづらさを感じている子どもたちに対する支援、学習活動やスポーツでの交流活動等を行う地域団体への負担を減らし、企画段階から協働、連携し、他の地域の子育て支援団体の孤立化も防ぐ活動 ・「多田地区サミット」の開催 随時（継続） 異年齢の交流、本を読む楽しさやその感動を共有し、コミュニケーションできる場づくりの再構築。（川西ボランティア連絡協議会） <ul style="list-style-type: none"> ・「社会貢献活動応援」 養成講座やスキルアップ講座を受講したはなまる隊が地域の社会貢献活動に協力や参画 ・「はなまる隊養成講座」を開講 モルック練習会や朗読劇の創作および挿絵づくり <ul style="list-style-type: none"> ・2021年11月 地域の文化祭参加 1回 創作絵本とダンスワークショップの発表会として文化祭参加 音楽朗読タイム（ダンスと曲：えんとつ町のプペル） ・公開講座 5回「みとめて、つながって、聴いて」座談会&総会開催 1回（継続） アフレコ風朗読会と創作物語の発表会 「地域で多世代のネットワークをつくる青少年の社会貢献活動報告」 		
事業スケジュール	実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）
			スタッフ 来場者等参加者
		別紙	

<p>事業効果</p>	<p>地域の「第3の大人」とつながり、地域の子ども同士もつながり、こどもたちの心の成長に大人たちが、勇気づけられ、元気をもって「こどもと共に」地域づくりをするはなまるクラブの目標を達成する一助となりました。</p> <p>今年度参加いただいたすべての青少年や大人たちが、交流活動に参加していただくことを自分の次のステップアップと考えて、自分のできることを前向きに楽しみ、探している姿がとても印象的でした。なかなか、未就学から90歳近いシニア世代まで、一つのことを協力していっしょに遊ぶ活動が無かったのですが、「ゆるっく」モルックの競技をゆるいルールで行うことで、だれでもチームとして共に笑い、悔しがり、汗を流し一体感が生まれることで、はなまるクラブの主活動「傾聴ボランティア」での見守り活動ができました。</p> <p>青少年への「青少年社会貢献活動認定」のための、講師も医療関係、子育て関係やカウンセリング関係の専門家をお願いでき、とても有意義な活動になりました。</p> <p>他団体の役員会や委員会への定期的な参加、のぼりやチラシ、ポスターなど啓発活動、広報宣伝活動を広範囲でおこなうことで、協力関係団体との信頼関係を密にし、対面でのイベントや活動報告チラシの手渡しをターゲットに届ける地道な活動と対話を重ねることで、口コミで来てくれる参加者が多くなりました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>掲示やポスティングだけでは、参加者が集まらないため、屋外で活動することで、多くの方の目に留まる機会をもっと増やします。次年度は、コミュニティーで毎月担当枠をもらい、地域のコミュニティとの協働活動の依頼をいただきました。今後もさまざまな団体との対面対話を通して、派遣活動で地域づくりに参画できるよう努めてゆきます。</p> <p>将来の担い手として、2名の高校生が、ダンス講師として活躍し、保育士や助産師の仕事、2名の中学生が、小学校の先生になりたいという夢、小説家になりたいという夢をもつ後押しが出来ました。未来の地域社会資源として活躍してくれることと期待しています。</p>

(活動状況写真) 公開可能



団体名

はなまるクラブ

団体設立

西暦 2016 年 4月 1日

活動分野

設立目的

- ①さまざまな世代、異年齢が集まり、ともだちを増やす場を作る
- ②地域の社会資源の情報を共有し、地域のつながり「縁」をつなぎ、「輪」を広げる
- ③子どもも地域社会の一員として、自分のできる範囲で、地域づくりに参加するチャンスをひらく
- ④「子どもとともに」よりよい地域を作り、地域の安心安全をまもる担い手の確保や次世代の社会資源の伝承

申請年度 活動報告書 上半期

(2021年度)令和3年4月～令和3年9月

回	月	日	曜日	活動内容	活動場所	スタッフ	参加人数
1	7	16	金	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	3
2	8	20	金	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	4
3	9	17	金	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	3

申請年度 活動計画書 下半期

(2021年度)令和3年10月～令和4年3月

回	月	日	曜日	活動内容	活動場所	スタッフ	参加人数
1	10	14	木	「ふとめて、つながって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 ・15:30～16:30 絵本の読みを考える会 挿絵創作、こども絵本イラストレーター発表、モルック練習会 ・16:30～ 自習室開放	多田小	1	7
2	10	15	金	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	3
3	10	21	木	「ふとめて、つながって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 ・15:30～16:30 絵本の読みを考える会 挿絵創作、こども絵本イラストレーター発表、モルック練習会 ・16:30～ 自習室開放	多田小	1	7
4	10	28	木	ハロウィンイラストを親子に創作、こども絵本イラストレーター発表、 15:30～16:30モルック練習会 並生創作活動異年齢交流会 ・16:30～ 地域 文化部 お手伝い打合せ ダンス高校生社会貢献活動 の企画会議 自習室開放	多田小	2	9
5	10	29	金	活動を市の教育委員会へチラシ配布依頼 交通費 多田駅～川西船勢口	川西市役所	1	3
6	11	4	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 企画会議 紙芝居づくりとダンス指導員 自習室開放	多田小	2	7
7	11	6	土	多田公民館登録団体の活動 「ふとめて、つながって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 ・ 3:00～15:00 地団排 プリマーマーケット手伝い 読書広場活動 文化祭手伝い 14:00～	キセラ川西 せせらぎ公 園	1	1
8	11	7	日	「ふとめて、つながって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 読書 ・ダンス発表会、多田中学校の吹奏楽とコラボレーション 12:00～19:00 文化部 手伝い	多田小	3	15
9	11	11	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 企画会議 紙芝居づくりとダンス指導員 自習室開放	多田小	2	10
10	11	18	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・13:00～14:45 「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための 意見交換 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 絵本の読みを考える会と読書創作会 会議の(対象中学生以上)	川西アステ6 階 多田小	2	9
11	11	19	金	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	4
12	11	20	土	「ふとめて、つながって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 読書・換着ホラ・見守り支援員	多田小	2	13
13	11	24	金	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	3
14	11	25	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 絵本の読みを考える会と読書創作会 会議の(対象中学生以上)	多田小	3	5
15	11	27	土	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	コープこうべ 生活文化セ ンター	1	4
16	12	2	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 絵本の読みを考える会と読書創作会 会議の(対象中学生以上)	多田小	3	4
17	12	9	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 企画会議 紙芝居づくりとダンス指導員 自習室開放	多田小	4	14
18	12	16	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 青少年社会貢献活動 の打ち合わせ 企画会議 紙芝居づくりとダンス指導員(高校生) 自習室開放	多田小	4	12
19	12	17	金	「多田地区サミット」：協力団体との情報共有「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	4

20	12	23	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 クリスマスイラスト 助産師 17:00～ 青少年社会貢献活動 の打ち合わせ 企画会議 紙芝居づくり と ダンス指導員(高校生) 自習室開放	多田小	3	10
21	12	26	土	開校委員会の年末総務手伝い 地域の公共施設内清掃ボランティア活動 9:30～12:00	多田小	1	4
22	1	6	木	17:00～ 絵本の読みを考える会と紙芝居作成 会議室(対象中学生以上)	多田小	1	2
23	1	13	木	・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 ・絵本の読みを考える会と紙芝居作成 会議室(対象中学生以上) 16:30～18:30	多田小	2	10
24	1	15	土	「みとめて つなぐって 聴いて」青少年社会貢献広場活動 派遣・傾聴ボラ・見守り支援員	多田小	2	7
25	1	20	木	・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 ・絵本の読みを考える会と紙芝居作成 会議室(対象中学生以上) 16:30～18:30	多田小	2	5
26	1	21	金	「多田地区サミット」協力団体との情報共有 「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	3
	1	22	土	「みとめて つなぐって 聴いて」青少年社会貢献広場活動 派遣 ・傾聴ボラ・見守り支援員 人権学習推進委員会 講座 手伝い 中止	多田小	0	0
	1	27	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」感染症対策活動中止 ・15:30～16:45 放課後学習会 モルック練習会 17:00～ 企画会議 紙芝居づくり と ダンス指導員	多田小	0	0
	2	3	木	・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 中止 ・絵本の読みを考える会と紙芝居作成 会議室(対象中学生以上) 16:30～18:30	多田小	0	0
27	2	6	日	「みとめて つなぐって 聴いて」青少年社会貢献広場活動 派遣・傾聴ボラ・見守り支援員	多田小	4	—
28	2	10	木	・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 ・絵本の読みを考える会と紙芝居作成 会議室(対象中学生以上) 16:30～18:30	多田小	2	1
29	2	17	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 企画会議 紙芝居づくり等 と ダンス指導員 自習室開放	多田小	4	15
30	2	18	金	「多田地区サミット」協力団体との情報共有 「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	3
31	2	24	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 企画会議 紙芝居づくり等 と ダンス指導員 自習室開放	多田小	3	6
32	3	3	木	・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会のみ中止 ・絵本の読みを考える会と紙芝居作成 会議室(対象中学生以上)開催 16:30～18:30	多田小	2	2
33	3	5	土	「みとめて つなぐって 聴いて」青少年社会貢献広場活動 派遣・傾聴ボラ・見守り支援員	多田小	3	8
34	3	10	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 17:00～ 企画会議 紙芝居づくり等 と ダンス指導員 自習室開放	多田小	3	19
	3	12	土	「みとめて つなぐって 聴いて」青少年社会貢献広場活動 派遣・傾聴ボラ・見守り支援員 人権講座 手伝い中止	多田公民館	0	0
35	3	13	日	「みとめて、つなぐって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 10:00～15:30 ダンス練習会 」高校生講師	川西市市民 体育館	2	9
36	3	14	月	「みとめて、つなぐって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 13:00～15:30 ダンス練習会 」高校生講師	川西市市民 体育館	1	5
37	3	17	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 企画会議 紙芝居づくり等 と ダンス指導員 自習室開放	多田小	1	2
38	3	18	金	「多田地区サミット」協力団体との情報共有 「社会貢献活動広場、地域担い手土壌づくりのための意見交換 チラシ配布	キセラ川西 プラザ	1	4
39	3	19	土	「みとめて つなぐって 聴いて」青少年社会貢献広場活動 派遣・傾聴ボラ・見守り支援員	多田小	3	7
40	3	20	日	「みとめて、つなぐって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 10:00～15:30 ダンス練習会 」高校生講師	川西市市民 体育館	2	2
41	3	24	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 ・15:30～16:45 放課後学習会 自習室 モルック練習会 異年齢交流会 助産師 17:00～ 企画会議 紙芝居づくり等 と ダンス指導員 自習室開放	多田小	4	18
42	3	28	火	「みとめて、つなぐって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 10:00～15:30 ダンス練習会 」高校生講師	川西市市民 体育館	2	7
43	3	29	水	「みとめて、つなぐって、聴いて」青少年社会貢献広場活動 10:00～15:30 ダンス練習会 」高校生講師	キセラ川西 プラザ	2	8
44	3	31	木	「読書・地域交流活動広場、地域担い手土壌づくり」 第5回 「みとめて、つなぐって、聴いて」座談会＆総会開催 10:00～ ・中高生以上 絵本の読みを考える会 発表会 (地域で多世代のネットワークをつくる青少年の活動報告)15分 ・朗読会の開催後面づくり「鬼滅の刃」のイラストでアフレコ黒顔談にチャレンジ 11:00～ 11:45 「ボランティア活動時に活用するスタッフエプロン制作することもデザイナー 説明会」5分 『エッグ・ハント』 イースターエッグを隠して宝探しのように見つけた ⇒次年度にむけてのアンケートおよび青少年総務以恩り報告書作成 ※分 次回活動日に提出	多田小	2	14
					小計	93	315

事業名 (大災害でも困らない持続可能なまちづくり)

団体名	トランジションタウン川西		代表	河北英一	
協働団体					
活動地域	川西市、猪名川町、能勢町、箕面市など阪神地域				
事業の目的・趣旨	<p>甚大な災害や環境問題に直面した場合でも、人々が生き延びることのできるまちやコミュニティづくりを推進しています。</p> <p>令和3年度は、科学者としての知見と様々な地域の持続可能なまちづくりに関わってきた尾久土氏をお招きして、具体的な例を挙げながら今私たちに必要な知識と生き方についてご講演いただきました。</p>				
事業内容	<p>1 日時 令和3年10月11日(月)10:00~12:00</p> <p>2 会場 川西市市民活動センター 会議室A,B</p> <p>3 内容 和歌山大学観光学部教授 尾久土正己氏に講演を依頼し、川西市の会場にてお話しただくとともに、その内容をZoomでオンライン配信を行いました。 また、セミナー修了後には、質疑応答の時間を設けるとともに、トランジションタウン川西の活動紹介を実施しました。 講演会の内容は録画し、今後の勉強会等に活用していく予定です。</p>				
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	3	4 2 1	川西市キセラプラザ「多目的室B」を借りる手続き	1	
		8 1 6	川西市市民活動センター 会議室A,Bを借りる手続き 川西市市民活動センター吉尾氏とZOOM打合せ	2	
		8 1 8	キセラプラザ多目的室取消し	1	
		9 1 3	川西市及び川西市社協へ後援申請	2	
		9 1 6	講演のチラシが届く		
		9 2 2	後援了承される。各所へ告知開始 川西市市民活動センター吉尾氏とZOOM打合せ	2	
		9 2 4	川西市で広報板貼付認可の印鑑もらい広報板に貼る	1	
		10 1 1	講演当日	5	20

<p>事業効果</p>	<p>参加いただいた方からは下記のような感想をいただいています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民のコミュニティーの基盤作りを行うことにより、互いに矛盾することが多い「環境」「経済」「社会」の三者間のバランスを取るという視点を学ぶことができた。 ・ 住民の相互扶助的なコミュニティーの創造が、災害に対しても地域のレジリエンスを高めることを知ることができた。 <p>また、参加者の方に当会の活動を知っていただき、新たなネットワークを築くことができた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>チラシの入稿が遅れたため全体に告知が遅れたことは反省点です。</p> <p>トランジションタウン川西内部で今回のイベントについての議論を深めて各人が獲得目標をより明確にすれば参加者の増大に繋がったのではないかと思います。</p> <p>オンライン配信は団体初の試みであり、今後も継続して発信力を高めていきたいです。</p>

(活動状況写真)



講師の尾久土氏



会場の様子



団体名 トランジションタウン川西

団体設立 2018年11月29日

活動分野 まちづくり

設立目的 資源の循環を特定の地域内で行うことで持続可能な社会への移行(トランジション)を実現すること。

事業名

 (キャンピング & ハイキング)

団体名	日本ボーイスカウト兵庫連盟 川西第4団 育成会			代表	小玉 一夫		
協働団体							
活動地域	川西市/猪名川町						
事業の目的・趣旨	<p>新型コロナウイルス感染拡大が深刻な現況（2021年4月）である兵庫県下に於いて、この拡大を防止するために不要不急の外出が制限され、学校（小学校・中学校）では登下校時でも制限されている状態です。この状況下に於いて地域での「コミュニケーション」を取りながら「自然」を体験することは難しい状況です。</p> <p>この状況が緩和されるには、まだ当分期待はできないと思われる状況であると考えています。然しながら、この状況下でも地域青少年と地域住民のコミュニケーションは必要であり十分な対策を考慮して活動を開催したいと考えています</p>						
事業内容	<p>1 実施期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンピング == 夏休み期間に実施（8月中旬～下旬） 但し、突然の新型コロナウイルス蔓延防止発令によりやむなく順延せざる負えない状況になり開催日程の変更をしました 即ち、開催日程：10月30日（土）～31日（日） ・ ハイキング == キャンピング日程変更により大幅に当初計画（11月中旬）がずれ込みました 即ち、実施日程：令和4年3月27日（日） <p>2 実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンピング == 尼崎青少年いこいの家 ・ ハイキング == 猪名川銀銅山ハイキングコース <p>3 参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内青少年 20名～30名 <p>4 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンピング == 野外における生活実施により災害時のサバイバル生活の体験（マッチなしでの火起こしや水不足時の臨機応変対策 等）をする ・ ハイキング == 猪名川銀銅山ハイキングコースの歴史や文化を満喫する 						
事業スケジュール	実施日（年-月-日）			事業概要		参加人数（人）	
						スタッフ	来場者等参加者
	令和 3年	10	30～31	1	<p>キャンピング == 野外での料理づくりに興味を持ち、災害時のサバイバル（火起こしや水不足生活、に臨機応変なる対策）の体験に興味と感示した。また、キャンピングの醍醐味であるキャンプファイヤーや野外におけるアクションゲーム大会を味わい、初めてのテント生活では家庭での就寝とは全く違う驚きを感じてくれた</p>	15	45
令和 4年	3	27	2	<p>ハイキングではコース内の景色を満喫して、歴史や伝統文化を実際に感じてくれた</p>	20	41	

<p>事業効果</p>	<p>参加者（子供たちとその保護者）は、これらの体験が将来に於いて十分に役立つ知識となり不自由生活が他人への思いやりや感謝の心を持つての言動や行動につながると考えます</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>安全対策として実施前にリーダー達（キャンピング==3名・ハイキング==5名）が現地の下見を行い危険個所の注意をする様に実際の行動時にはその都度危険排除をした。然しながら子供たちは解放された野外でのとっさの行動がリーダーを悩ました 但し、今回の両活動（キャンピング・ハイキング）ともに一切の事故は有りませんでした事を申し添えます</p>

(活動状況写真)



団体名 日本ボーイスカウト兵庫連盟 川西第4団

団体設立 1974年4月1日

活動分野 青少年の健全育成

設立目的、 スカウト運動を通じて青少年の優れた人格を形成し、かつ国際友愛精神に津止増進を図り、青少年の健全育成に関与することを目的とする
社会教育の務めを理解して、その分野で尽力を尽くす

事業名		(巡礼街道活性化プロジェクト)						
団体名	特定非営利活動法人宝塚メディアネットワーク	代表	宮脇 英明					
協働団体	なし							
活動地域	宝塚市清荒神、中山寺、売布神社地域							
事業の目的・趣旨	宝塚市内にある巡礼街道は、史跡としても貴重な遺産が数多く残されており、江戸時代以降、多くの参拝者が訪れていました。しかし、最近では参拝客が少なくなり、閑散としている現状があります。このため宝塚ボランティアガイドグループと協働でウォーキングイベントを開催することで、清荒神、売布神社、中山寺の歴史と文化を見直すとともに、巡礼街道の魅力を若い世代へ伝えていくことにより、地域を活性化することを目的としています。							
事業内容	<p>令和3年4月4日に「宝塚巡礼街道出会うウォーキング」として落語家笑福亭笑助さんと共に中山寺、売布神社、清荒神の巡礼街道を楽しく和気あいあいとウォーキングしました。参加者独身の男女16名が集まり盛会のうちに終了いたしました。</p> <p>令和3年12月19日に「宝塚巡礼街道いきいきウォーキング」として落語家笑福亭笑助さんの代役講師旭堂南斗さんとともに清荒神、売布神社、市杵島姫命神社、中山寺の巡礼街道を楽しく和気あいあいとウォーキングをしました。</p> <p>参加者は急遽2人のキャンセルで6名と小グループで盛会に終了しました。</p> <p>尚、令和3年10月24日「出会うウォーキング」、令和3年11月21日「出会うウォーキング」、令和4年3月27日「いきいきウォーキング」を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、参加者及び関係者の安全面を第一に考慮した結果、残念ながら開催を中止いたしました。</p>							
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要			参加人数 (人)		
						スタッフ	来場者等参加者	
	3	4	4	出会うウォーキング開催			3	16
	3	6	26	執行部 打合わせ 次回開催について			4	
	3	10	21	執行部 打合わせ 10月24日開催について協議中止を決定。			4	
	3	11	18	執行部 打合わせ 11月21日開催について協議中止を決定。			4	
	3	12	12	執行部 打合わせ 12月19日についての手順について協議			4	
	3	12	19	出会うウォーキング開催			2	6
	4	2	2	執行部 打合わせ 3月27日についての手順について協議			4	
4	3	16	執行部 打合わせ 3月27日開催についての協議中止を決定			4		

<p>事業効果</p>	<p>令和3年4月4日「出会いウォーキング」は参加者16名、令和3年12月19日「いきいきウォーキング」参加者6名、開催を中止した10月24日「出会いウォーキング」、11月21日「出会いウォーキング」3月27日「いきいきウォーキング」参加申し込み者各20名で合計82名の集客ができ、一定のニーズがあることを感じました。また20代から70代までの幅広い年齢層の方に参加いただき世代を超えた交流を行うことができたと思われました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、10月24日、11月21日、3月27日の3日実施出来なかったことは大変残念ですが、申し込み者からはイベントの開催を希望する声も多くいただいております。今後も本事業を継続していきたいと考えています。今後の新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、感染防止対策を徹底したうえで実施していきたいです。</p>

(活動状況写真)



団体名 特定非営利活動法人宝塚メディアネットワーク

団体設立 2012年10月19日

活動分野 芸術文化歴史、まちづくりなど

設立目的 地域住民に対して世代を超えた人たちがコミュニケーションを取れるよう、伝統芸能音楽等の文化振興事業、農村との交流支援等を実施し地域住民の「きづな」づくりと地域の活性化に寄与することを目的とする。

事業名	(親子テニス)
------------	-----------

団体名	NPO 法人親子会エルフ	代表	西根千鶴		
協働団体					
活動地域	宝塚市すみれガ丘～宝塚南口近辺にて				
事業の目的・趣旨	<p>当法人では子育て中の母親や子供たちが安心して健やかに暮らせる地域づくりに寄与することを目的として、居場所の提供、子どもの育成、親子の親睦を深める事業を実施してきた。その取り組みの一環として、2015 年度から親子テニスを開催してきた。他のテニス教室ではレベル分けされ、また練習は子どもが行い、親は応援するだけのことが少なくないが、当法人の親子テニスでは親と子が一緒に参加し、楽しむことで、親子の絆を深め、地域の多世代交流の機会とし、少子化が進む地域において子育てしやすい地域づくりに繋げることを目的とする</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 8 回、親と子が共に参加する親子テニスを開催した (感染拡大の時期は開催をとりやめた) ・ 月に一度、日曜の 15～17 時まで、宝塚スポーツセンターにて開催した (テニスコートは 2 面 2 時間予約したいが、出来ないときもあった) ・ 練習内容はその都度様々＝中学生や経験者の参加が多い時は高度な練習をし、初心者が多い時は基礎からゆっくり練習した ・ コロナ禍で大々的に宣伝できず、参加者は増えなかった ・ 指導は当法人代表の西根がおこなった (御殿山中学にて 4 年間ソフトテニス外部コーチの経験あり) 				
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)	事業概要	参加人数 (人)		
			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">スタッフ</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">来場者等参加者 (子ども)</td> </tr> </table>	スタッフ	来場者等参加者 (子ども)
スタッフ	来場者等参加者 (子ども)				
	2021/4/18		2 4		
	2021/6/20	年間 8 回開催	2 8		
	2021/9/12		2 8		
	2021/10/10	宝塚スポーツセンターにて	2 6		
	2021/11/28	15 時～16 時 基礎練習	2 6		
	2021/12/12	16 時～17 時 試合形式練習 など	2 6		
	2022/2/27		2 4		
	2022/3/13		2 4		

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で同じスポーツを楽しみ、親子で苦労や楽しさを共有することで、親子の絆を深める機会となった ・地域の複数の親子が参加することで、地域の多世代交流の機会となった ・少子高齢化が進み、子育ての悩みを一人で抱える親が多い中、親や子の居場所、子育て支援の場となった ・子どもはできなかったことを練習により徐々にできるようになり、達成感を味わう機会となり、良好な親子関係を築くきっかけとなり、また親は運動不足を解消する事が出来た ・不登校の子ども達も参加することによりリフレッシュできる居場所となった
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今まで助成をありがとうございました。残念ですが、今年度でスポセンを借りることが経営上難しくなりやめることになりました。しかしながら今後もこのような親子でテニスを楽しむ機会はなくしたくないので、スポセンではなく、使用料のかからない地域の中学校や高校を利用させてもらえるよう交渉していこうと考えています。</p>

(活動状況写真)



団体名 NPO 法人親子会エルフ

団体設立 西暦 2018 年 2 月

活動分野 子どもの健全育成を図る活動

設立目的 この法人は、子育て家庭に対して、親子のふれあいや居場所提供等の事業を行い、子育て中の親や子どもたちが安心して健やかに暮らせる地域づくりに寄与することを目的とする。